



取扱説明書（操作・設定編）

ネットワーク・ビデオ・レコーダー

形名 **YC-R04B2 / YC-R08B4 / YC-R16B8**



HDMI®

このたびは、シャープ製ネットワーク・ビデオ・レコーダーYC-R04B2/YC-R08B4/YC-R16B8（以下、本製品）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）および、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

ご使用前に、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）に記載の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

本書の内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取扱説明書（基本編）、および、ソフトウェアは下記 URL よりダウンロードすることができます。

<https://jp.sharp/business/security-camera/>

■ もくじ

■ もくじ	1
はじめに	4
■ 取扱説明書について	4
■ 本製品でできること	5
■ ご使用になる前に確認してください	6
アクセスしてパスワードを設定する	13
■ 事前準備	13
■ ActiveX コントロールを許可する	13
■ プロキシサーバーを無効にする	14
■ NVR にアクセスしてパスワードを設定する	14
基本的な操作のしかた	16
■ 「本体操作」のしかた	16
■ 「ブラウザ操作」のしかた	17
■ 画面の見かた	18
■ 画面レイアウトを切り替える	22
■ 映像の一部を拡大する	23
■ 映像を一時停止する	24
■ 映像（画質）を調整する	25
■ 音量を調整する	26
■ ストリーム情報を表示する	27
■ ログイン/ログアウト/シャットダウン	28
起動する	30
■ 起動する前に	30
■ 電源を入れる	30
■ パスワードを設定する	30
初期設定する	31
■ はじめる前に	31
■ セットアップウィザードを起動する	32
■ セットアップウィザードに従って初期設定する	32
言語を設定する	32
パスワードを変更する	33
時刻とタイムゾーンを設定する	33
ストレージを設定する	34
ネットワークを設定する	35
接続しているカメラを設定する	36
アラームと録画を設定する	37
セットアップウィザードを終了する	37

操作する	38
■ ライブビューをみる	38
■ PTZ カメラを操作する	39
■ 再生する	41
再生日時を選択する	41
録画再生を操作する	43
録画データを外部媒体にバックアップする	45
■ 手動録画する	47
■ 映像を検索する	48
設定する	49
■ 設定時のご注意	49
■ カメラを追加する・設定する	50
カメラの設定をする	50
ONVIF カメラ検索からカメラを追加する	52
画像を調整する	53
■ 録画を設定する	54
録画に関する設定をする	54
録画スケジュールを設定する	55
スケジュール録画の詳細を設定する	56
■ アラームを設定する	58
アラームを設定する	58
動き検知の範囲を設定する	59
アラーム出力を設定する	60
■ 映像表示を設定する（ディスプレイ設定）	64
ディスプレイの表示を設定する	64
画像の明るさなどを設定する	65
シーケンシャル間隔を設定する	65
■ ネットワーク設定	66
ネットワークの設定をする	66
仮想 IP アドレスを設定する	69
E メール送信を設定する	70
FTP 転送を設定する	71
DDNS を設定する	72
その他の設定	73
■ システム設定	74
基本設定をする	74
時刻を設定する	75
ユーザー設定する	75
ストレージを設定する	77
イベントを検索する	79
NVR をメンテナンスする	80

■ PTZ カメラを設定する	84
付録	85
■ 故障かな？	85

はじめに

■取扱説明書について

構成について

本製品の取扱説明書は、次の構成になっています。

取扱説明書（基本編）【別冊、本体同梱】：

本製品の安全上のご注意、設置時や使用時のお願い事項について記載しています。
本製品を使用する前に必ずお読みください。

取扱説明書（操作・設定編）【本書】：

本製品を使用するにあたっての設定および操作方法について記載しています。

表記について

本書では、説明を簡単にするために「ネットワークカメラ」を「カメラ」、「ネットワーク・ビデオ・レコーダー」を「NVR」と表記します。

商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本製品でできること

製品概要

本製品は、ネットワークカメラの映像および音声をハードディスクに記録することができるネットワーク・ビデオ・レコーダーです。

形名	ハードディスク	カメラ接続台数
YC-R04B2	2TB ×1	最大 4 台
YC-R08B4	4TB ×1	最大 8 台
YC-R16B8	8TB ×1	最大 16 台

特長

高精細映像

4K 解像度（3840×2160※）まで録画することができます。

※1 3840×2160 を超える解像度を設定した場合、適切な表示ができません。

※2 全方位タイプは最大 2464x2464 となります。

PoE 給電対応

PoE 給電に対応。システム構成を簡素化できます。（供給電力には限りがあります。）

簡単操作・簡単設定

本製品にマウス（付属品）を接続し、モニター画面を見ながら操作できます。

また、パソコンのブラウザから本製品にアクセスし、設定することができます。

ブラウザは、Microsoft Edge IE モードに対応しています。

主な機能

ライブビュー

カメラのリアルタイム映像を見ることができます。

録画再生

日時を指定して、録画映像を見ることができます。

録画映像のバックアップ

録画映像や静止画像を USB メモリーなどの外部媒体にコピーすることができます。

ユーザーレベルの切り替え

不正な操作を防ぐため、使用者に応じて操作できる機能を制限することができます。

アラート機能

設定したエリア内の動きや外部入力機器からのアラーム信号を検知した場合に、ランプやブザーで警告したり、その前後だけ録画したりすることができます。

ご注意:

アラート機能は、カメラ側の設定が必要になります。カメラによってはアラート機能を使用できない場合があります。

■ご使用になる前に確認してください

操作・設定について

本製品は、つぎの方法で操作・設定できます。

●本製品に接続したマウスで操作する 「本体操作」

本製品前面（または背面）にある USB ポートにマウス（付属品）を接続して操作をおこないます。本体操作のしかたは、本書「基本的な操作のしかた」の P.16「本体操作のしかた」をお読みください。

●パソコンの Web ブラウザーから操作する 「ブラウザー操作」

本製品とパソコンをネットワーク接続し、Web ブラウザーから操作をおこないます。パソコンと本製品との接続および本体操作のしかたは、本書「基本的な操作のしかた」の P.17「ブラウザー操作のしかた」をお読みください。

メモ：

「本体操作」と「ブラウザー操作」で画面表示や操作方法および実行できる操作に一部違いがあります。本書の操作説明・画面は「本体操作」の場合で記載しています。

「ブラウザー操作」には、NVR コントロールメニューはありません。「本体操作」では、ライブ画面と設定画面が別画面で、コントロールメニューの  でライブ画面から設定画面に切り替えて各種設定をしますが、「ブラウザー操作」では、ライブも設定も同じ画面のタブで切り替えるようになっています。例えば NVR の設定画面の「カメラ」であれば、ブラウザー操作では画面左部の項目の「カメラ」と読み替えて、操作してください。

「ブラウザー操作」は「本体操作」と異なる部分を記載しています。本書の「ブラウザー操作」は Microsoft Edge IE モードでの操作を記載しています。

接続する機器の推奨仕様について

本製品と接続して使用する機器の推奨仕様は、次のとおりです。

●パソコンの推奨仕様

対応 OS	: Windows10
Web ブラウザー	: Microsoft Edge IE モード
CPU	: Core i5 第 7 世代以降
メモリー	: 8GB 以上
その他	: NVIDIA のグラフィックボード

●外部記録媒体の推奨仕様

種類	: USB フラッシュメモリー
容量	: 32GB 以下
ファイルシステム	: FAT32

●モニターの推奨仕様

表示解像度	: 1920×1080
端子	: VGA または HDMI

視認性確保のため画面サイズは 22V 型以上をおすすめします。音声を利用される場合は、スピーカー搭載のモニターに HDMI 接続することを推奨します。

●LAN ケーブルの推奨仕様

カテゴリ : 5e 以上
長さ : 100m 以下

LAN ケーブルが 100m を超える場合は、PoE ハブ等の電源供給機を併用ください。

ユーザー設定

本製品は、誤操作や不正な操作を防ぐため、ユーザーごとに操作できる機能を制限できます。ユーザーは次の 4 タイプに分けられます。詳しくは、本書「システム設定」の P.75 「ユーザー設定する」をご確認ください。

●ADMIN :

すべての操作・設定をおこなえます。

●OPERATOR:

操作できる機能を管理者が設定できます。

設定はユーザー許可「Operator」として保存されます。

●GUEST:

操作できる機能を管理者が設定できます。

設定はユーザー許可「Guest」として保存されます。

●USER01～12:

操作できる機能を管理者が設定できます。

ユーザー設定時に許可する機能を選択する必要があります。

ユーザー許可は「Admin」「Operator」「Guest」から選択できます。

詳しくは、本書「システム設定」の P.75 「ユーザー設定する」をご確認ください。

HDD 録画目安

本製品を使用した場合の録画日数目安は、次のとおりです。ご利用場所の環境や使用条件により実際と差異が生じる場合があります。目安としてご利用ください。

●【録画日数拡張】が【Off】、H.264 で録画する場合

	フレームレート	映像内の動き	録画解像度 2MP ^{※1}				録画解像度 8MP ^{※2}			
			1台	4台	8台	16台	1台	2台	4台	8台
YC-R04B2 (2TB)	30	少	35日	13日			13日	7日	3日	
		中	22日	7日			9日	5日	2日	
		多	13日	3日			8日	4日	2日	
	20	少	41日	16日			17日	9日	5日	
		中	27日	9日			9日	5日	2日	
		多	16日	4日			8日	4日	2日	
	10	少	54日	27日			28日	17日	9日	
		中	41日	16日			17日	9日	5日	
		多	27日	9日			9日	5日	2日	
YC-R08B4 (4TB)	30	少	70日	26日	14日		27日	15日	7日	4日
		中	44日	14日	7日		18日	10日	5日	2日
		多	26日	7日	3日		16日	8日	4日	2日
	20	少	82日	33日	18日		34日	19日	10日	5日
		中	55日	18日	9日		19日	10日	5日	2日
		多	33日	9日	5日		17日	9日	4日	2日
	10	少	108日	55日	33日		57日	34日	19日	10日
		中	82日	33日	18日		34日	19日	10日	5日
		多	55日	18日	9日		19日	10日	5日	2日
YC-R16B8 (8TB)	30	少	140日	52日	28日	14日	55日	30日	15日	8日
		中	89日	28日	14日	7日	37日	20日	10日	5日
		多	52日	14日	7日	3日	33日	17日	9日	4日
	20	少	164日	66日	37日	19日	69日	38日	20日	10日
		中	110日	37日	19日	10日	38日	20日	10日	5日
		多	66日	19日	10日	5日	35日	18日	9日	4日
	10	少	217日	110日	66日	37日	114日	69日	38日	20日
		中	164日	66日	37日	19日	69日	38日	20日	10日
		多	110日	37日	19日	10日	38日	20日	10日	5日

※1 サブストリームは、640x360（FPS はメインと同じ）として計算しています。

※2 サブストリームは、1280x720（FPS はメインと同じ）として計算しています。

●【録画日数拡張】が【Off】、H.265で録画する場合

	フレームレート	映像内の動き	録画解像度 2MP※ ¹				録画解像度 8MP※ ²			
			1台	4台	8台	16台	1台	2台	4台	8台
YC-R04B2 (2TB)	30	少	47日	21日			23日	13日	6日	
		中	33日	12日			13日	7日	3日	
		多	21日	6日			9日	5日	2日	
	20	少	53日	26日			28日	17日	9日	
		中	40日	15日			17日	9日	5日	
		多	26日	8日			9日	5日	2日	
	10	少	64日	40日			42日	28日	17日	
		中	53日	26日			28日	17日	9日	
		多	40日	15日			17日	9日	5日	
YC-R08B4 (4TB)	30	少	95日	42日	24日		47日	27日	15日	7日
		中	67日	24日	13日		27日	15日	7日	4日
		多	42日	13日	6日		18日	10日	5日	2日
	20	少	106日	53日	31日		57日	34日	19日	10日
		中	80日	31日	17日		34日	19日	10日	5日
		多	53日	17日	9日		19日	10日	5日	2日
	10	少	128日	80日	53日		84日	57日	34日	19日
		中	106日	53日	31日		57日	34日	19日	10日
		多	80日	31日	17日		34日	19日	10日	5日
YC-R16B8 (8TB)	30	少	190日	85日	49日	26日	94日	55日	30日	15日
		中	135日	49日	26日	13日	55日	30日	15日	8日
		多	85日	26日	13日	7日	37日	20日	10日	5日
	20	少	213日	106日	63日	35日	114日	69日	38日	20日
		中	160日	63日	35日	18日	69日	38日	20日	10日
		多	106日	35日	18日	9日	38日	20日	10日	5日
	10	少	256日	160日	106日	63日	168日	114日	69日	38日
		中	213日	106日	63日	35日	114日	69日	38日	20日
		多	160日	63日	35日	18日	69日	38日	20日	10日

※1 サブストリームは、640x360（FPSはメインと同じ）として計算しています。

※2 サブストリームは、1280x720（FPSはメインと同じ）として計算しています。

●【録画日数拡張】が【On】、H.264で録画する場合

	フレームレート	映像内の動き	録画解像度 2MP※1				録画解像度 8MP※2			
			1台	4台	8台	16台	1台	2台	4台	8台
YC-R04B2 (2TB)	30	少	62日	15日			16日	8日	4日	
		中	30日	7日			10日	5日	2日	
		多	15日	3日			9日	4日	2日	
	20	少	83日	20日			22日	11日	5日	
		中	41日	10日			11日	5日	2日	
		多	20日	5日			9日	4日	2日	
	10	少	167日	41日			44日	22日	11日	
		中	83日	20日			22日	11日	5日	
		多	41日	10日			11日	5日	2日	
YC-R08B4 (4TB)	30	少	124日	31日	15日		33日	16日	8日	4日
		中	62日	15日	7日		21日	10日	5日	2日
		多	30日	7日	3日		18日	9日	4日	2日
	20	少	167日	41日	20日		44日	22日	11日	5日
		中	83日	20日	10日		22日	11日	5日	2日
		多	41日	10日	5日		19日	9日	4日	2日
	10	少	335日	83日	41日		88日	44日	22日	11日
		中	167日	41日	20日		44日	22日	11日	5日
		多	83日	20日	10日		22日	11日	5日	2日
YC-R16B8 (8TB)	30	少	248日	62日	31日	15日	66日	33日	16日	8日
		中	124日	31日	15日	7日	42日	21日	10日	5日
		多	62日	15日	7日	3日	37日	18日	9日	4日
	20	少	335日	83日	41日	20日	88日	44日	22日	11日
		中	167日	41日	20日	10日	44日	22日	11日	5日
		多	83日	20日	10日	5日	39日	19日	9日	4日
	10	少	671日	167日	83日	41日	176日	88日	44日	22日
		中	335日	83日	41日	20日	88日	44日	22日	11日
		多	167日	41日	20日	10日	44日	22日	11日	5日

※1 サブストリームは、640x360（FPSはメインと同じ）として計算しています。

※2 サブストリームは、1280x720（FPSはメインと同じ）として計算しています。

●【録画日数拡張】が【On】、H.265で録画する場合

	フレームレート	映像内の動き	録画解像度 2MP※1				録画解像度 8MP※2			
			1台	4台	8台	16台	1台	2台	4台	8台
YC-R04B2 (2TB)	30	少	116日	29日			33日	16日	8日	
		中	57日	14日			16日	8日	4日	
		多	28日	7日			10日	5日	2日	
	20	少	158日	39日			44日	22日	11日	
		中	79日	19日			22日	11日	5日	
		多	39日	9日			11日	5日	2日	
	10	少	318日	79日			88日	44日	22日	
		中	158日	39日			44日	22日	11日	
		多	79日	19日			22日	11日	5日	
YC-R08B4 (4TB)	30	少	232日	58日	29日		66日	33日	16日	8日
		中	116日	29日	14日		33日	16日	8日	4日
		多	57日	14日	7日		21日	10日	5日	2日
	20	少	318日	79日	39日		88日	44日	22日	11日
		中	158日	39日	19日		44日	22日	11日	5日
		多	79日	19日	9日		22日	11日	5日	2日
	10	少	638日	159日	79日		176日	88日	44日	22日
		中	318日	79日	39日		88日	44日	22日	11日
		多	158日	39日	19日		44日	22日	11日	5日
YC-R16B8 (8TB)	30	少	466日	116日	58日	29日	132日	66日	33日	16日
		中	232日	58日	29日	14日	66日	33日	16日	8日
		多	116日	29日	14日	7日	42日	21日	10日	5日
	20	少	638日	159日	79日	39日	176日	88日	44日	22日
		中	318日	79日	39日	19日	88日	44日	22日	11日
		多	158日	39日	19日	9日	44日	22日	11日	5日
	10	少	1276日	319日	159日	79日	354日	177日	88日	44日
		中	638日	159日	79日	39日	176日	88日	44日	22日
		多	318日	79日	39日	19日	88日	44日	22日	11日

※1 サブストリームは、640x360（FPSはメインと同じ）として計算しています。

※2 サブストリームは、1280x720（FPSはメインと同じ）として計算しています。

ご注意:

赤枠の条件では、NVRで設定可能な最大ビットレート（12Mbps）により、画質が制限される可能性があります。録画日数拡張については、P57「録画日数拡張」をご確認ください。

使用時の制約事項

本製品では、各操作や機能において次のような制約事項があります。内容をよくご確認の上、ご使用ください。

●マウス操作について

起動直後や、複数の処理がおこなわれているときなどにおいて、本製品に接続したマウスでの操作の反応が一時的に遅くなることがあります。

●再起動について

処理中に操作するなど、システムに過度の負荷がかかったとき、本製品は自動的に再起動する場合があります。

●動体検知機能について

本製品に動体検知機能はありません。カメラに動体検知機能があり、かつ、動体検知機能が有効化されている場合、本製品からアラートを出したり、動体検知をきっかけに録画を開始したりすることができます。本製品からカメラの動体検知機能を有効にしたり、感度などの設定を変更したりすることはできません。

●動画（ライブビュー/再生）の表示について

フレームレート、解像度などの設定組み合わせによってはなめらかに表示されない場合があります。

Web ブラウザー使用時も、パソコンの仕様によってはなめらかに表示されない場合があります。

●遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」について

本製品は、弊社が提供している遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」の公式アプリ「SHARP ビュー」に非対応です。本製品に接続しているカメラの映像を離れた場所から視聴したい場合は、本製品をインターネットに接続した上で、パソコンまたはモバイル端末の Web ブラウザーからアクセスしてください。

遠隔視聴の詳しい設定方法については、お買いあげの販売店または弊社営業担当にご確認ください。

アクセスしてパスワードを設定する

■事前準備

- 取扱説明書（基本編）の「システム構成例」に記載の構成で、NVR、パソコンを接続してください。
- 本製品にアクセスする前に、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

■ActiveX コントロールを許可する

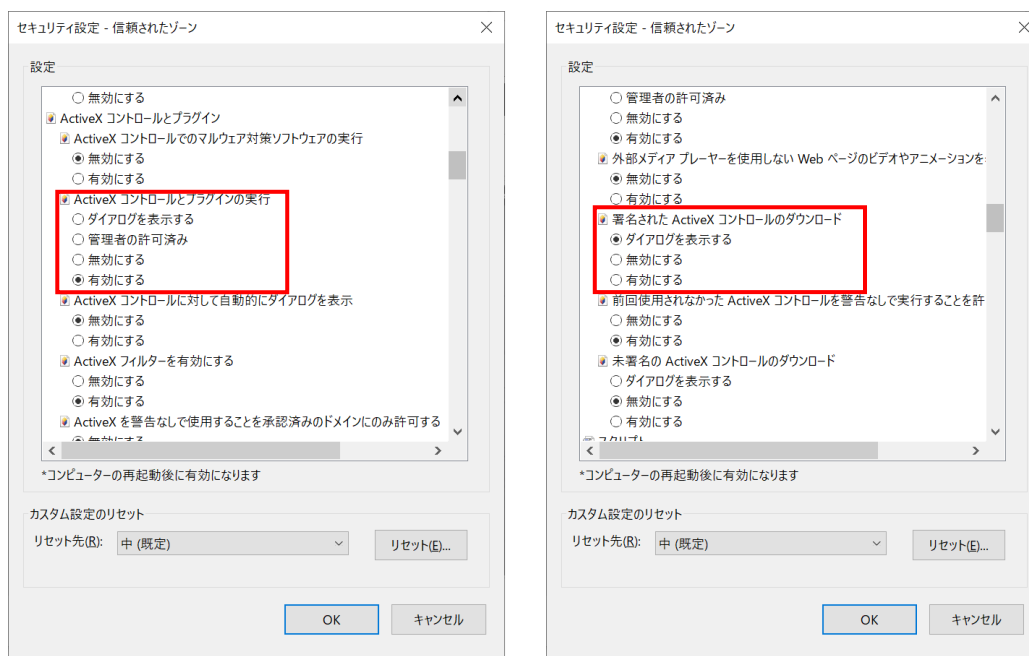
ライブビューを視聴するためには ActiveX コントロールが必要です。ActiveX コントロールのパソコン上での動作を許可するために、次の設定を実施してください。

1. パソコンの【セキュリティ設定】画面を開きます。

パソコンの【スタート】ボタンをクリックし、【コントロールパネル】から、【インターネットオプション】>【セキュリティ】>【レベルのカスタマイズ】を開きます。（アイコン表示でコントロールパネルを操作した場合について記載しています。）

2. 【ActiveX コントロールとプラグイン】の項目を設定します。

【ActiveX コントロールとプラグインの実行】で【有効にする】を選択し、【署名された ActiveX コントロールのダウンロード】で【ダイアログを表示する】を選択し、設定を保存します。



(Windows10 設定画面)

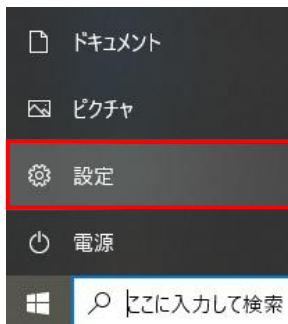
メモ：

- ご使用のパソコンによって設定画面や項目名称が異なります。

■プロキシサーバーを無効にする

ネットワークの設定でプロキシサーバーが有効になっていると、NVR に正常にログインできません。以下の手順でプロキシサーバーを無効にしてください。

1. Windows の「設定」を開きます。



2. 「ネットワークとインターネット」を開きます。

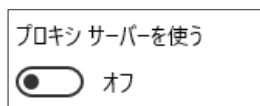


3. 「プロキシ」を開きます。



4. プロキシサーバーを無効にします。

プロキシの「プロキシサーバーを使う」をオフにします。



ご注意：

- 上記手順は、Windows10 の場合の操作となります。

■NVR にアクセスしてパスワードを設定する

パソコンの Web ブラウザーを介して NVR にアクセスします。
セキュリティの観点から、NVR にはじめてアクセスした際にユーザー名とパスワードを作成する必要があります。

1. パソコンと NVR を同一ネットワークに接続します。

パソコンのネットワーク設定方法については、パソコンの取扱説明書をご確認ください。

2. パソコンで Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに NVR の初期 IP アドレスを入力後、エンターキーを押します。本製品の初期 IP アドレスは 192.168.0.111 です。

NVR のパスワード作成画面が表示されれば、アクセス成功です。

ご注意：

- ネットワークのプロキシサーバーを無効にしてください。プロキシサーバーが有効になっていると正常にログインできません。

メモ：

- Web ブラウザーは Microsoft Edge IE モードをご使用ください。
- JPEG またはフル HD ビデオを表示するには、ActiveX コントロールが必要です。インストールを要求する警告ダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってインストールしてください。
- 使用可能な IP アドレスについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

3. パスワード作成画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。

4. [パスワードを作成] ボタンをクリックしてパスワードを設定します。

メモ：

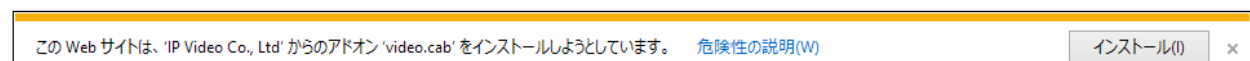
- 設定したユーザーが管理者権限を持ちます。
- アルファベットの太文字と小文字は識別されます。
- パスワードは、8 文字以上、かつ、アルファベットの太文字、小文字、数字 (0~9)、記号 (~ ? / + = , ; . ' @ # ¥ % ^ & * () _ -) の中から 3 種類以上の文字を含める必要があります。

ご注意：

- ユーザー名およびパスワードといった認証情報はお客様ご自身の責任で適切に保管してください。

5. ActiveX コントロールをダウンロードします。

NVR に初めてアクセスした際、ActiveX コントロール (video.cab) に関するセキュリティ警告ダイアログが表示される場合があります。表示された場合は[インストール]をクリックし、ActiveX コントロールをインストールしてください。



基本的な操作のしかた

■「本体操作」のしかた

NVR にモニターとマウスを接続して設定・操作をおこないます。

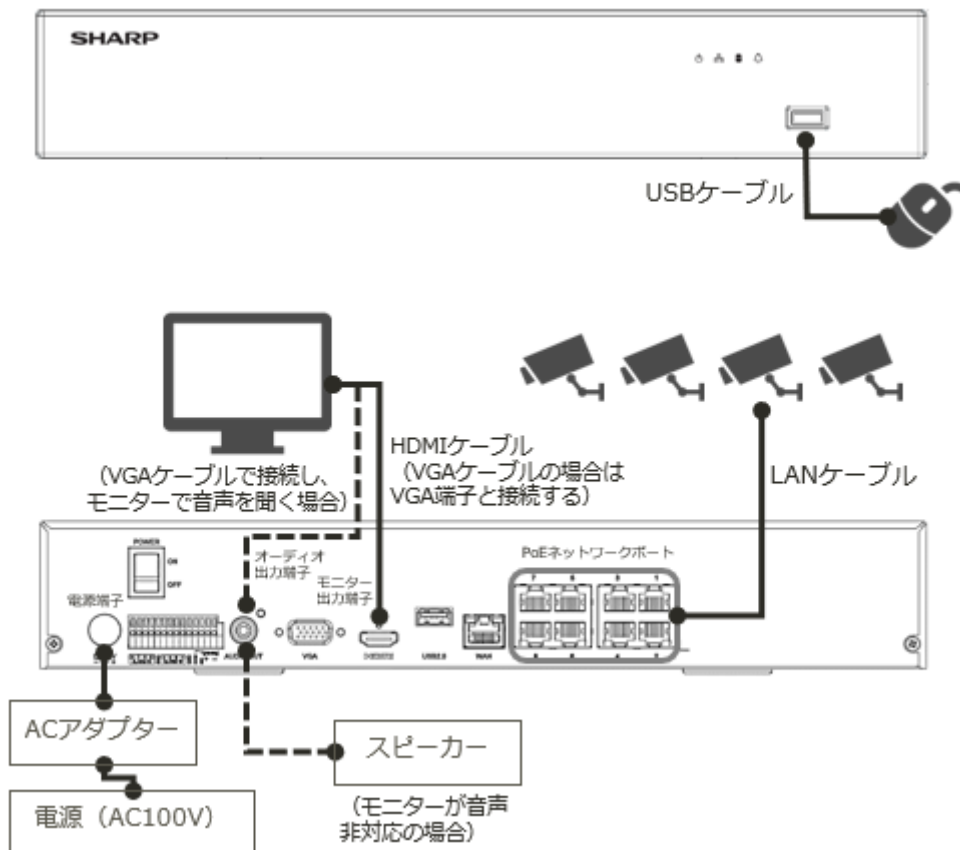
電源端子に AC アダプターを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

マウスは USB ポートに接続します。(USB ポートは前面パネルまたは背面パネルにあります。)

モニターは VGA でモニター出力端子 (VGA) に接続するか、HDMI でモニター出力端子 (HDMI) に接続します。

NVR の電源を入ると、モニターに起動画面が表示されます。

※あらかじめカメラの設定をおこない、NVR の初期設定をしてからカメラの接続をおこなってください。



(イラストは YC-R08B4 です。実線は必須、点線は任意を示しています。)

マウスの操作方法

設定画面の項目にカーソルを合わせて、クリックすると選択した設定ができます。

入力ボックスにカーソルを合わせてクリックすると、キーボードが表示され、キーをクリックすることで文字や記号を入力できます。

ライブビュー画面でマウスを右クリックすることで、ライブビューの設定や本製品のログイン/ログアウトをすることができます。

■ 「ブラウザー操作」のしかた

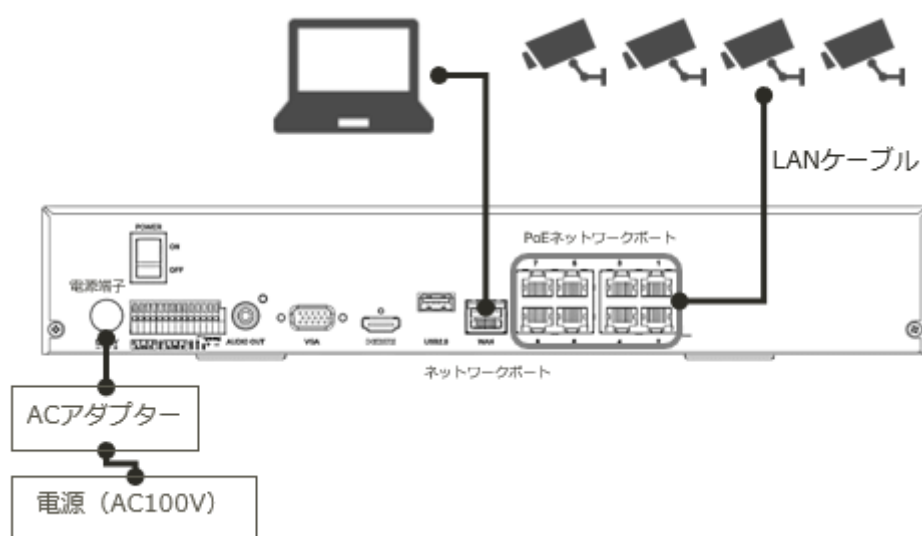
NVR と同一ネットワークに接続したパソコンの Web ブラウザーから設定・操作をおこないます。

パソコンを LAN ケーブルでネットワークポートに接続します。パソコンを NVR と同一のネットワークに設定します。

メモ：

NVR の初期 IP アドレスは、192.168.0.111 です。

※あらかじめカメラの設定をおこない、NVR の初期設定をしてからカメラの接続をおこなってください。



(イラストは YC-R08B4 です。)

NVR の電源が ON の状態で、パソコンの Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに NVR の IP アドレスを入力し Enter キーを押します。初期 IP アドレスの場合は、192.168.0.111 です。

パソコン画面に NVR のログイン画面が表示されます。

■ 画面の見かた

メイン画面に表示されるアイコンやレイアウト変更方法について説明します。

※ログアウトした場合や、ログインしたユーザーの設定によっては表示されない部分があります。

本体操作

上の NVR コントロールメニュー



下の NVR コントロールメニュー

(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

項目	説明
① 日付/時刻	現在の日付と時刻を表示します。
② ハードディスクの容量	NVR の内蔵ハードディスクの使用した容量を表示します。
③ ネットワークステータス	ネットワークポート(WAN ポート)の状態を表示します。 Rx は受信状態、Tx は送信状態を示しています。 円の色は次の状態を示しています。 ： 1000Mbps での送受信が可能 ： 100Mbps での送受信が可能 ： 通信エラー

※設定>ディスプレイ>一般>ステータスエリア表示を Off にすることで非表示にできます。

マウスを少し動かすと、上下に NVR コントロールメニューが表示されます。

上の NVR コントロールメニュー

アイコン	説明
	NVR の設定画面をひらきます。
	映像を一時停止や一時停止の解除をします。
	アラームイベント画面に切り替わります。
	録画再生やバックアップの操作画面に切り替わります。 詳しくは、本書「再生する」P.41 をご確認ください。

	クリックすることで、録画状態をスケジュール録画(左)か手動録画(右)に切り替えることができます。 詳しくは、本書「手動録画する」P.47 をご確認ください。
---	---

下の NVR コントロールメニュー

アイコン	説明
	画面の分割数を切り替えます。 YC-R04B2 の場合:  /YC-R16B8 の場合: 
	シーケンシャル表示に切り替えます。シーケンシャル表示では、一定の間隔で表示するカメラ映像が切り替わります。
	クリックして音声のオン/オフを切り替えます。
	クリックすると、特定の外部機器連携が有効になります。 設定画面で [アラーム] > [アラーム出力] > [外部機器連携] の [マニュアル操作] を On にするとアイコンが表示されます。

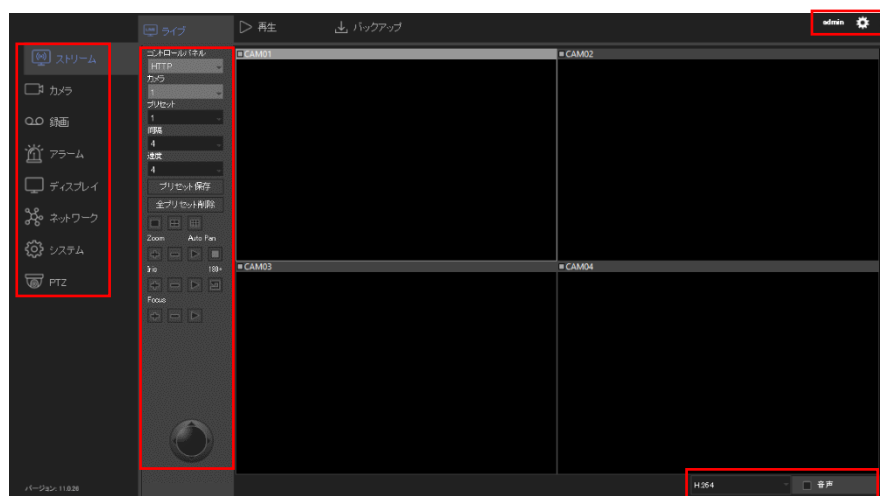
カメラ映像に重ねて表示される情報

ポップアップ	説明
	録画中である場合に表示されます。
	動体検知した場合に、一定時間表示されます。
	アラーム検知した場合に、一定時間表示されます。

※設定>ディスプレイ>一般>カメラ名表示を Off にすることで非表示にできます。

ブラウザー操作

ストリームのライブ項目が表示されます。設定項目はカメラにより異なります。カメラが接続されていると、カメラ名左の□が緑点滅します。



項目	説明
	ユーザー名を表示します。
	クリックして、ユーザー切替と言語変更をします。
	使用しません。

項目	説明
コントロールパネル	選択しているカメラの名称を表示します。
カメラ	カメラ番号を表示します。
プリセット	PTZ カメラを使用しているときのみ、プリセットへ移動します。
間隔	PTZ カメラを使用しているときのみ、移動のインターバルを選択します。
速度	PTZ カメラを使用しているときのみ、移動のスピードを選択します。
プリセット保存	PTZ カメラを使用しているときのみ、プリセット位置の保存をします。
全プリセット削除	PTZ カメラを使用しているときのみ、保存しているプリセットをすべて削除します。
	選択したカメラを 1 画面表示します。
	画面の分割数を切り替えます。 YC-R04B2 の場合：  YC-R16B8 の場合： 
Zoom	PTZ 対応カメラまたは遠隔からの操作が可能な電動バリフォーカル（VF）レンズを搭載したカメラを使用しているときのみ、ズームイン/ズームアウトの操作をします。
Auto Pan	使用しません。
Iris	使用しません。
180°	使用しません。
Focus	使用しません。
	PTZ カメラを使用しているときのみ、パン/チルトの操作をします。

ご注意:

 は YC-R04B2、YC-R08B4 の Ver11.0.26 SVN#7346 以前の場合のみ表示されます。

Zoom～ の項目は、PTZ 対応カメラまたは遠隔からの操作が可能な電動バリフォーカル（VF）レンズを搭載したカメラを接続すると表示されます。

項目	説明
	映像形式を選択します。
	チェックを入れると、音声を有効します。 マイク内蔵カメラまたはカメラに外部マイクを接続した場合のみ、音声が出力されます。

画面左部の項目

項目	説明
ストリーム	ストリームの設定画面をひらきます。
カメラ	カメラの設定画面をひらきます。
録画	録画の設定画面をひらきます。
アラーム	アラームの設定画面をひらきます。
ディスプレイ	ディスプレイの設定画面をひらきます。
ネットワーク	ネットワークの設定画面をひらきます。
システム	システムの設定画面をひらきます。
PTZ	PTZ の設定画面をひらきます。

ライブ画面上または録画再生画面上での右クリック操作で、以下の項目を設定します。

項目	説明
Save"カメラ名"	選択したカメラの静止画を保存します。
Save All	すべてのカメラの静止画を保存します。
Show Full Screen	全画面表示にします。
Deinterlace On	使用しません。
Record Setting	録画の設定をします。
Record Start/Stop	録画を開始/終了します。
Disable Video...	使用しません。
Video Display	映像表示サイズの設定をします。
Video Rotate	使用しません。
Computer Graphics	映像表示アクセラレーション方式を設定します。
Video Quality	使用しません。
Internet Mode	使用しません。
Version	プラグインバージョンを表示します。

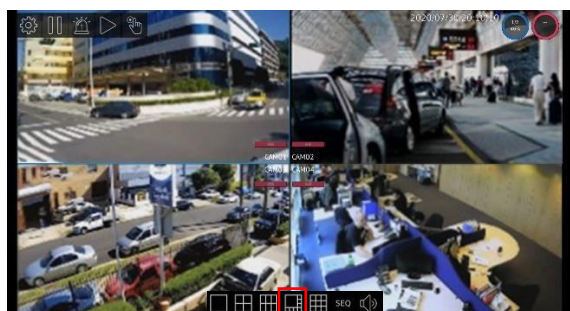
■ 画面レイアウトを切り替える

メモ：

分割表示しているときに、カメラ映像をダブルクリックすると、ダブルクリックしたカメラの1画面表示に切り替わります。

本体操作

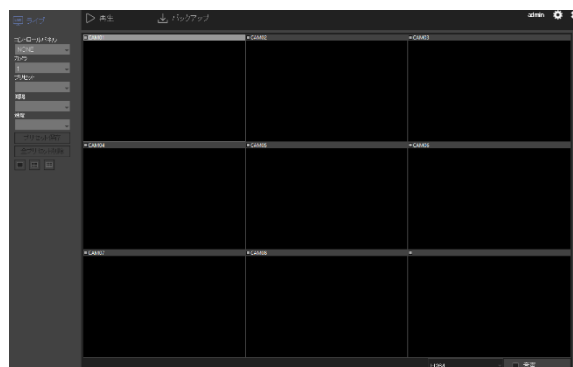
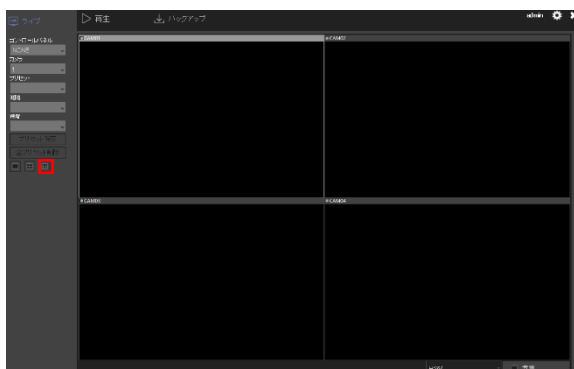
NVRコントロールメニューから、設定したい分割画面のアイコン(YC-R04B2  / YC-R08B4  /YC-R16B8 ) をクリックします。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

ブラウザー操作

［ストリーム］＞［ライブ］ から設定したい分割画面のアイコンをクリックします。
分割数には制限があります。



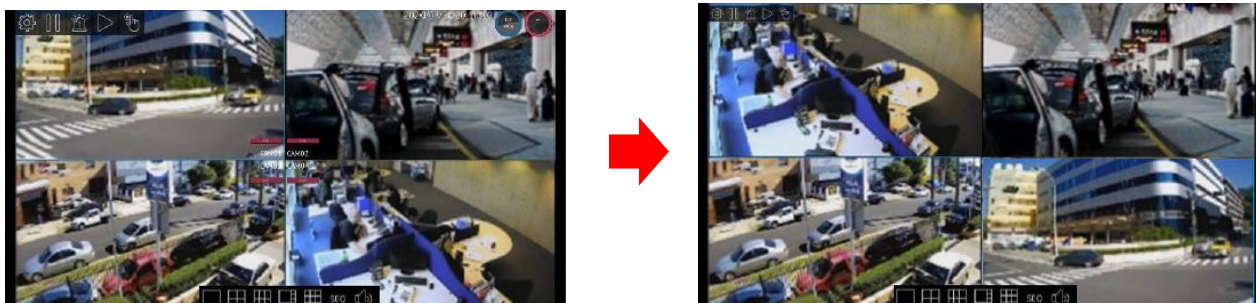
(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

カメラの表示位置を切り替える

ご注意:

ブラウザー操作でこの操作は実行できません。

動かしたいカメラ映像をクリックし、ドラッグアンドドロップすることで、表示位置を変更することができます。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

■映像の一部を拡大する

デジタルズームで拡大する

ご注意:

ブラウザー操作でこの操作は実行できません。

ライブビューの画面で、拡大したいカメラ映像を 1 画面表示にします。
マウスホイールを前後に動かすことで、映像を拡大／縮小できます。
拡大した画面上でドラッグすると、映像範囲を動かすことができます。

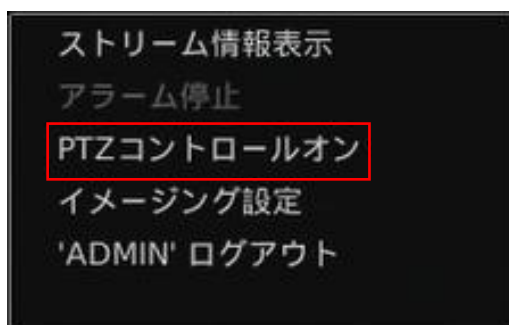
光学ズームで拡大する

ご注意:

この機能は、PTZ 対応カメラまたは遠隔からの操作が可能な電動バリフォーカル (VF) レンズを搭載したカメラのみに対応しています。

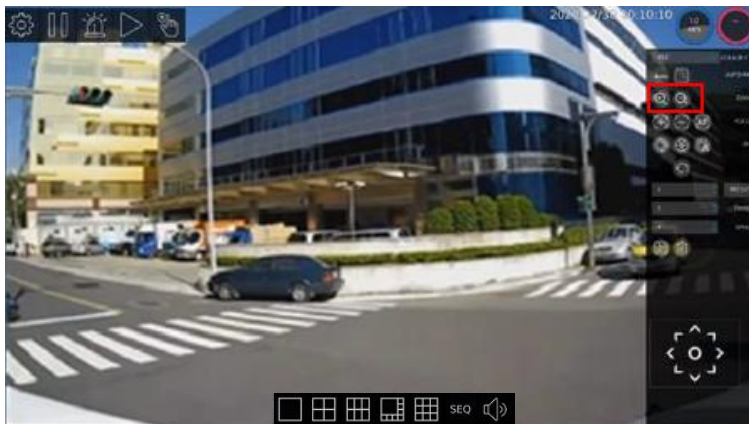
本体操作

ライブビューの画面で、拡大するカメラ映像を 1 画面表示にします。
画面を右クリックし、表示されるメニューから「PTZ コントロールオン」を選択します。
※ユーザー権限によっては選択できません。



PTZ コントロールメニューが表示されます。

⌕、🔍で拡大、縮小をおこないます。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

メモ：

アイコンをクリックするたびに少しずつ拡大／縮小します。長押しは無効です。

ブラウザー操作

[ストリーム] > [ライブ] から拡大するカメラをクリックし、[Zoom] の⊕、⊖で拡大／縮小します。

映像を一時停止する

ご注意：

ブラウザー操作でこの操作は実行できません。

ライブビューで確認しているときに、映像を一時停止（フリーズ）して、映像を確認することができます。NVR コントロールメニューの🔴ををクリックすると、その時点でカメラの映像が一時停止した状態になります。一時停止した場合、アイコンが青枠🟡で表示されます。一時停止している間でも録画は継続しています。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

一時停止している間は他の操作をおこなうことができません。

一時停止を解除するためには🟡をクリックします。

■映像（画質）を調整する

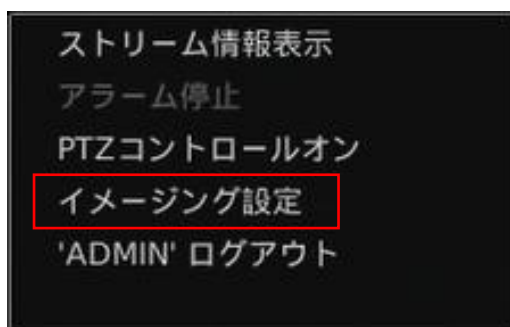
ご注意:

ブラウザ操作でこの操作は実行できません。

画質（明るさ、彩度など）を調整するときは、ライブビューの画面で 1 画面表示にし、画面を右クリックします。表示されるメニューから「イメージング設定」を選択します。

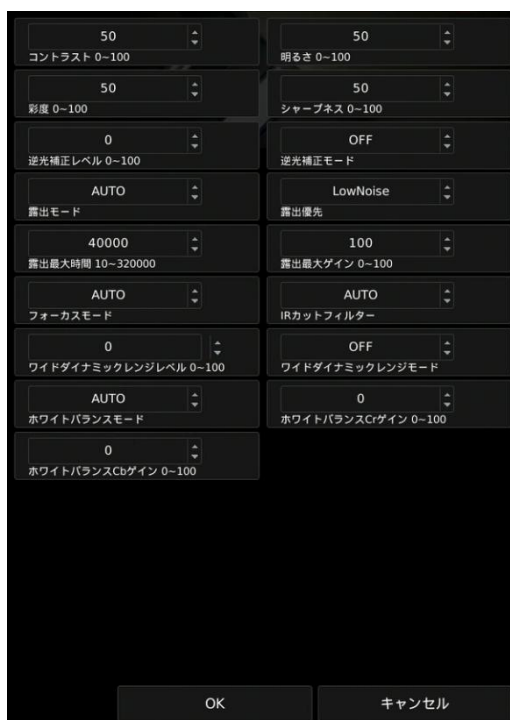
※PTZコントロールがオンになっていると、選択できません。

※ユーザー権限によっては選択できません。



表示されるメニューから明るさ、コントラスト、彩度、シャープネスなどを調整することができます。設定できる項目は、カメラによって異なります。

設定が完了したら「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックして設定画面を閉じます。

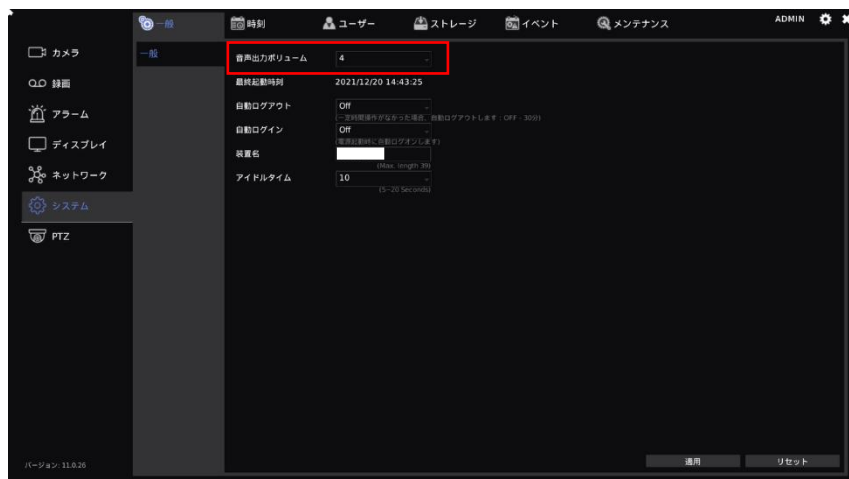


設定した内容は、設定画面の［カメラ］＞［ビデオ］の設定に反映されます。

■ 音量を調整する

音量を調整するときは、NVR コントロールメニューの  をクリックして設定画面をひらき、[システム] > [一般] の「音声出力ボリューム」で音量を選択します。

ブラウザー操作では、画面左部の項目から「システム」> [一般] の「音声出力ボリューム」で音量を選択します。

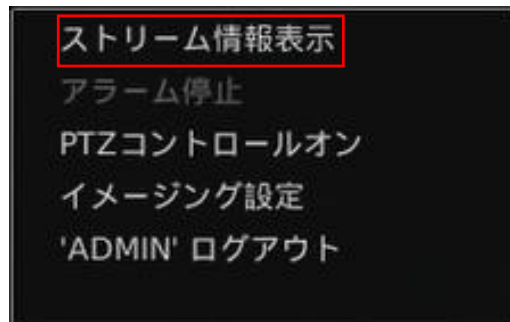


■ ストリーム情報を表示する

ご注意:

ブラウザ操作でこの操作は実行できません。

ストリーム情報を表示するときは、画面を右クリックします。表示されるメニューから「ストリーム情報表示」を選択します。



ライブビューのストリーム情報（ビデオの解像度とフレームレート）が画面に表示されます。



（画像は YC-R08B4 の操作画面です。）

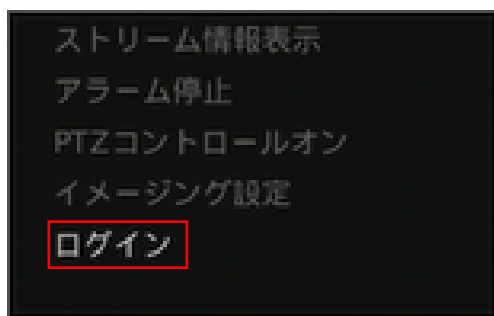
ストリーム情報を消したいときは、画面を右クリックし、表示されるメニューから「ストリーム情報非表示」を選択します。

■ ログイン/ログアウト/シャットダウン

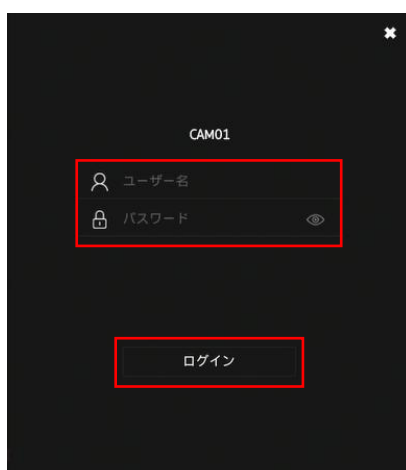
本体操作

ログインする

NVR にログインする場合は、画面を右クリックします。表示されるメニューから「ログイン」を選択します。



ログイン画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



ログアウトする

ログアウトする場合は、画面を右クリックして、表示されるメニューから['ユーザー名' ログアウト]を選択します。



設定>カメラ>非表示設定にて[GUEST]を設定しているカメラ以外、画像の表示が消えます。

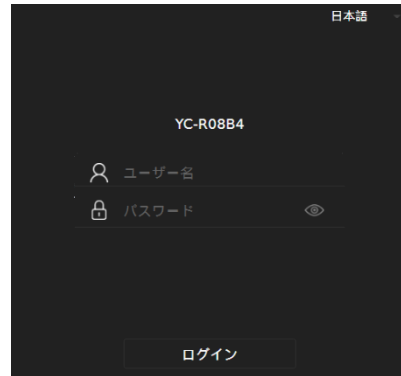
シャットダウンする

NVR の電源スイッチをオフにします。

ブラウザー操作

ログインする

ブラウザーのアドレスバーに NVR の IP アドレスを入力し Enter キーを押します。ログイン画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



ログアウトする

ログアウトする場合は、画面右上の【×】をクリックしてブラウザーを閉じます。

シャットダウンする

NVR の電源スイッチをオフにします。

起動する

■ 起動する前に

起動する前にあらかじめ、NVR と AC アダプター、モニター、マウスなどが正しく接続されていることを確認してください。ブラウザー操作の場合はパソコンも接続してください。カメラは、NVR を初期設定した後に接続してください。

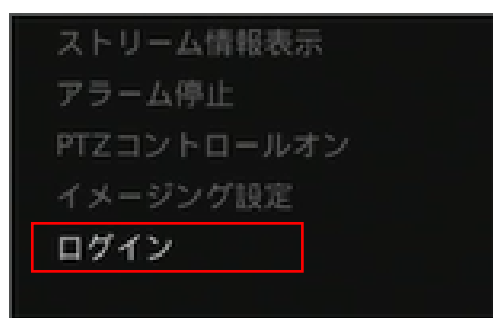
NVR の接続については、取扱説明書（基本編）をご確認ください。

■ 電源を入れる

電源を入れるときは、NVR の電源スイッチをオンにします。

■ パスワードを設定する

最初に NVR の電源を入れたときに、NVR の管理者パスワードを設定します。画面上でマウスを右クリックし、[ログイン] をクリックします。



ブラウザー操作では、アドレスバーに NVR の IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

パスワード設定画面が表示されます。

管理者パスワードを設定します。

パスワード入力欄をクリックし、「パスワード」および「パスワード（確認）」に同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

メモ:

パスワードは、8 文字以上、かつ、アルファベットの大文字、小文字、数字、記号の中から 3 種類の文字を含める必要があります。

記号は ~ ! @ . # \$ % ^ & * () _ + ? > < - を使用できます。

ご注意:

セキュリティを高めるため、安易なパスワードにしないことをお勧めします。特に高いセキュリティが要求されるシステムでは、パスワードを定期的に変更することで、より安全に使用することができます。

初期設定する

■ はじめる前に

NVR の初期設定をはじめる前に、カメラ側の設定をご確認ください。

確認項目	説明
ユーザー名／パスワード	カメラのユーザー名とパスワードが設定されているか、確認してください。カメラのパスワードは、NVR とカメラを接続する際に必要です。
IP アドレス	NVR と同一ネットワーク ^{※1} で、異なる IP アドレスである必要があります。 (例) NVR 192.168.0.111 の場合のカメラの IP アドレス OK 192.168.0.200 NG 192.168.1.200 (同一ネットワークでない) ^{※2} NG 192.168.0.111 (IP アドレスが重複)
ONVIF	ONVIF を有効化してください。ONVIF アカウントが設定されていない場合、カメラを接続できません。また、ONVIF ユーザー名／パスワードは、カメラのユーザー名／パスワードと一致している必要があります。
映像 (ストリーム)	メインストリームやサブストリームの解像度 ^{※3} 、エンコーディングを設定してください。
セキュリティ	不法ログインのロック機能が有効な場合は、無効にしてください。

※1 NVR は、仮想 IP アドレスを設定することで複数のネットワークに属することができます。

※2 NVR に仮想 IP アドレス 192.168.1.xxx を設定した場合は接続できます。

仮想 IP アドレスを設定する場合は、初期設定完了後、設定画面よりおこなってください。

※3 3840×2160 を超える設定した場合、自動で NVR 側より解像度の設定変更される場合があります。また、解像度の設定範囲のリストが正常に動作しなくなる場合があります。3840×2160 以下の解像度を設定してください。解像度の設定範囲のリストが正常に動作しない場合、NVR からカメラを外して、カメラの初期化をおこなってください。

全方位タイプは、最大解像度 2464×2464 となります。

ご注意：

YK-F031A および YK-F051A は、H.265 を利用する場合、ONVIF 接続できません。RTSP 接続してください。

メモ：

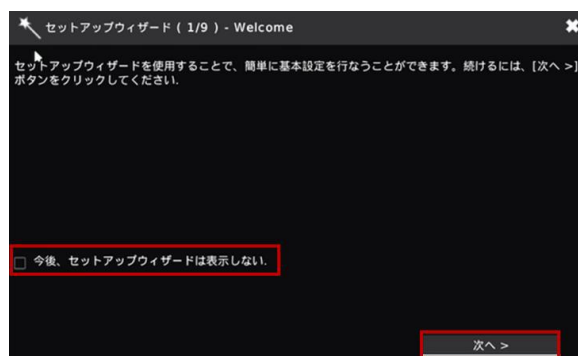
カメラ映像のエンコーディングおよび解像度は、NVR から設定することができません。設定方法はカメラの取扱説明書をご確認ください。

■ セットアップウィザードを起動する

初めて NVR の設定画面をひらいたとき、自動的にセットアップウィザードが起動します。セットアップウィザードでは、言語やログインパスワードなど NVR の基本的な設定をウィザードに従って設定することができます。

ブラウザ操作では、パスワード設定画面で [パスワードを作成] をクリックすると、自動的にセットアップウィザードが起動します。

最初の画面で内容を確認の上、[次へ]をクリックします。



メモ:

次回以降、セットアップウィザードを起動しないようにするには、「今後、セットアップウィザードは表示しない」のチェックボックスにチェックを入れてください。

メモ:

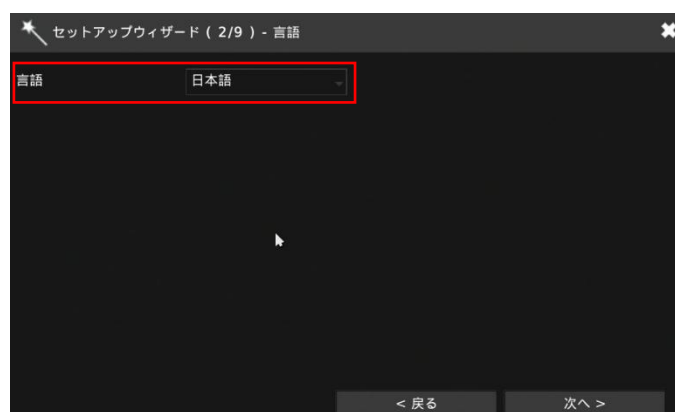
セットアップウィザードは、1度セットアップウィザードが終了したあとでも、再度おこなうことができます。

NVR の設定画面の [システム 

■ セットアップウィザードに従って初期設定する

言語を設定する

言語を設定する画面が表示されるので、使用する言語を選択し、[次へ]をクリックします。



パスワードを変更する

パスワードを変更する画面が表示されます。

パスワードを変更する必要がない場合は、空欄のまま [次へ] をクリックします。

パスワードを変更する場合は、「古いパスワード」に登録済みのパスワードを入力します。次に「新しいパスワード」と「新しいパスワード（確認）」に登録するパスワードを入力します。[表示] をクリックすると、入力した内容を確認することができます。

入力が完了したら、[次へ] をクリックします。

The screenshot shows a window titled 'セットアップウィザード (3/9) - ADMIN 新しいパスワード'. The main heading is 'パスワード変更'. There are three input fields, each with a '表示' (Display) button to its right. The first field is labeled '古いパスワード' (Old Password) and has '(Max Length 32)' below it. The second field is labeled '新しいパスワード' (New Password) and has '(Max Length 32)' below it. The third field is labeled '新しいパスワード(確認)' (New Password (Confirmation)) and has '(Max Length 32)' below it. At the bottom, there are two buttons: '< 戻る' (Back) and '次へ >' (Next).

時刻とタイムゾーンを設定する

NVR で使用する年月日と時刻、タイムゾーンをそれぞれ設定し、[次へ] をクリックします。

The screenshot shows a window titled 'セットアップウィザード (4/9) - 時刻/タイムゾーン'. There are two main sections. The first section is '時刻' (Time), with a text input field containing '2021/02/02 08:55:14' and '(YYYY/MM/DD hh:mm:ss)' below it. The second section is 'タイムゾーン' (Time Zone), with a dropdown menu showing 'GMT: +9' and another dropdown menu showing 'Asia/Tokyo'. At the bottom, there are two buttons: '< 戻る' (Back) and '次へ >' (Next).

ストレージを設定する

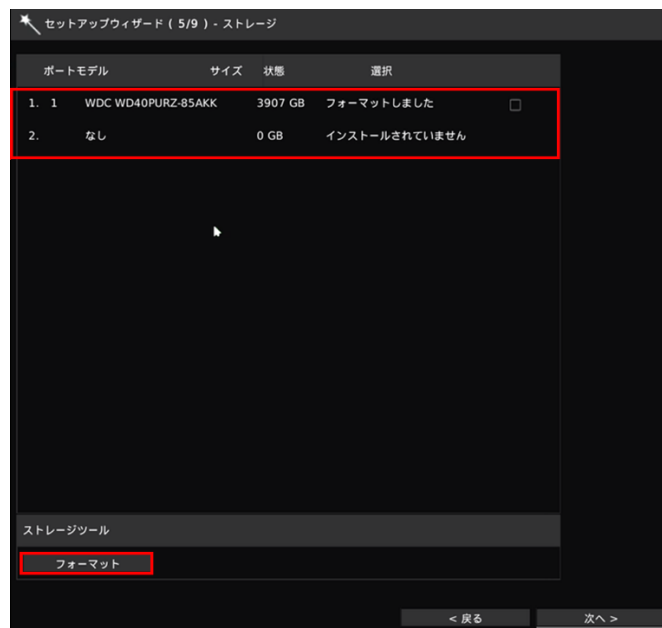
NVR の内蔵ハードディスクなどのストレージのフォーマットを設定します。

フォーマットする場合は、フォーマットするストレージの右にあるチェックボックスにチェックを入れ、[フォーマット] をクリックします。

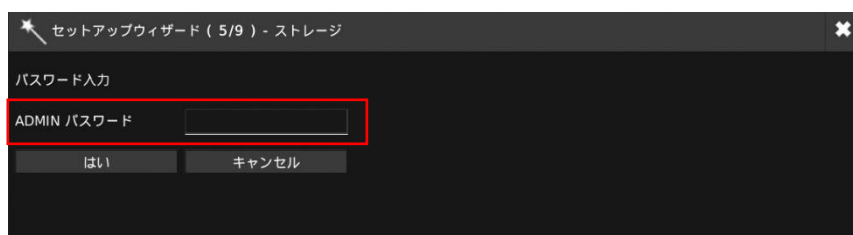
ご注意:

通常、フォーマットをする必要はありません。

フォーマットをするとストレージ内の録画データが削除されます。



パスワード入力画面が表示されるので、NVR の ADMIN パスワードを入力し、[はい] をクリックします。選択したストレージのフォーマットが開始されます。



フォーマットが完了したら、[次へ] をクリックします。

ネットワークを設定する

NVR のネットワークを設定します。下表の設定をおこなったあと、[次へ] をクリックします。

項目名	説明
IP アドレスモード	NVR で使用する IP アドレスのタイプを「Static」（固定）、「DHCP」、「PPPoE」から選択します。
IP アドレス	「IP アドレスモード」で「Static」（固定）を選択した場合、使用する IP アドレスを入力します。「IP アドレスモード」で「DHCP」、「PPPoE」を選択した場合は、自動的に IP アドレスが割り振られ、入力済みになっています。
サブネットマスク	「IP アドレスモード」で「Static」（固定）を選択した場合、使用するサブネットマスクを入力します。「IP アドレスモード」で「DHCP」、「PPPoE」を選択した場合は、自動的にサブネットマスクが割り振られ、入力済みになっています。
デフォルトゲートウェイ	「IP アドレスモード」で「Static」（固定）を選択した場合、使用するデフォルトゲートウェイを入力します。「IP アドレスモード」で「DHCP」、「PPPoE」を選択した場合は、自動的にデフォルトゲートウェイが割り振られ、入力済みになっています。
PPPoE アカウント	「IP アドレスモード」で「PPPoE」を選択した場合、PPPoE のアカウントを入力します。
PPPoE パスワード	「IP アドレスモード」で「PPPoE」を選択した場合、PPPoE のパスワードを入力します。
PPPoE アドレス	「IP アドレスモード」で「PPPoE」を選択し、PPPoE 接続をしている場合、PPPoE のアドレスを表示します。

ご注意:

ブラウザ操作の場合、ネットワークを変更するとアクセスできなくなる場合があります。

接続しているカメラを設定する

接続しているカメラを設定します。下記の設定をおこなったあと、[次へ] をクリックします。

接続しているカメラのリストが表示されます。



項目名	説明
ONVIF カメラ検索	NVR に接続している ONVIF カメラをリストに表示します。もう一度クリックすると ONVIF カメラを検索します。
IP 自動設定	NVR に接続しているカメラの IP アドレスを自動で割り振ります。
サムネール取得	NVR に接続しているカメラの撮影画像がサムネールで表示されます。
カメラ自動選択	リストに表示されているカメラのチャンネルを自動で選択します。

ご注意:

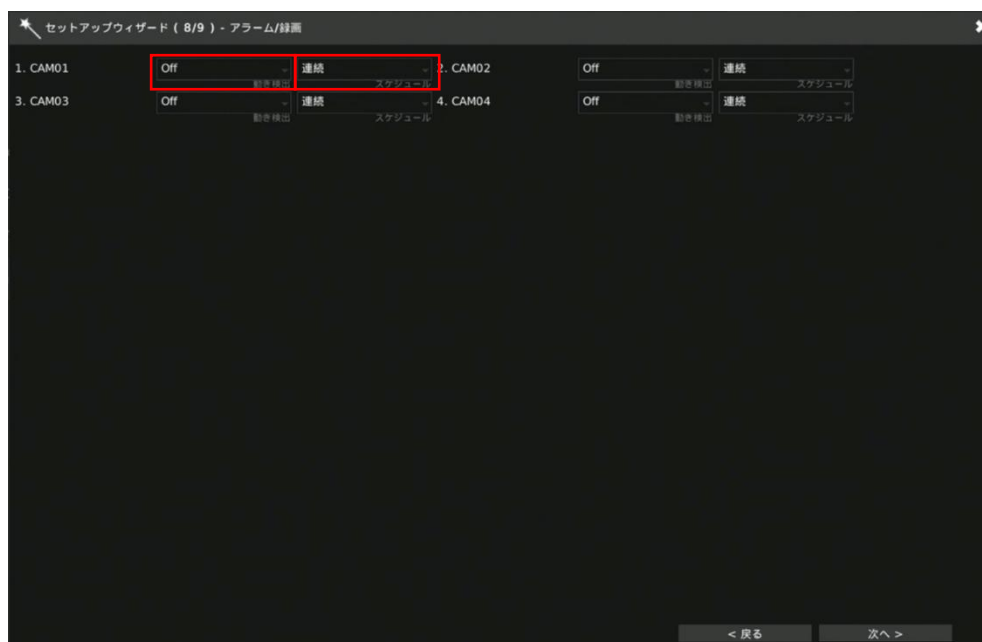
ONVIF カメラ検索を利用する場合は、あらかじめカメラの ONVIF を有効にしておく必要があります。カメラの ONVIF を有効化する方法は、カメラの取扱説明書をご確認ください。

メモ:

カメラによっては、サムネール取得や IP 自動設定ができない場合があります。

アラームと録画を設定する

カメラごとに、動き検出および録画方法を設定します。設定をおこなったあと、[次へ]をクリックします。



項目名	説明
動き検出	動き検出機能の On/Off を設定します。 On の場合、動き検出時にカメラ映像に「モーション」と重ねて表示したりすることができます。動き検出時の動作は、設定画面の [アラーム] から設定できます。 ご注意： カメラの動き検出機能が有効に設定されている必要があります。
スケジュール	録画スケジュールを連続（連続録画）/アラーム（動き検出などのイベントが発生したときにのみ録画）から設定します。

セットアップウィザードを終了する

すべての設定が完了したら [完了] をクリックします。

メモ:

次回以降、セットアップウィザードを起動しないようにするには、「今後、セットアップウィザードは表示しない」のチェックボックスにチェックを入れてください。

操作する

■ ライブビューをみる

NVR にログインすると、ライブビューの映像がモニターに表示されます。

メモ：

ログインしているユーザーによっては、ライブビューが表示されない場合があります。また、カメラの設定によっては、ログインしていない場合でも映像が表示される場合があります。

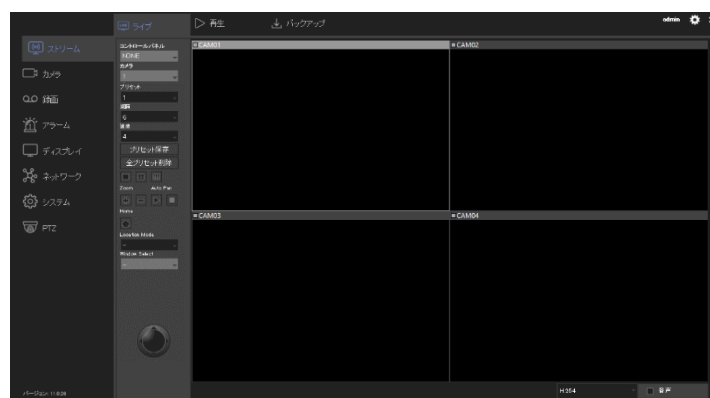
詳しくは、本書「設定する」の「カメラを追加する・設定する」の P.51「非表示」の項目をご確認ください。

本体操作



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

ブラウザー操作



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

■ PTZ カメラを操作する

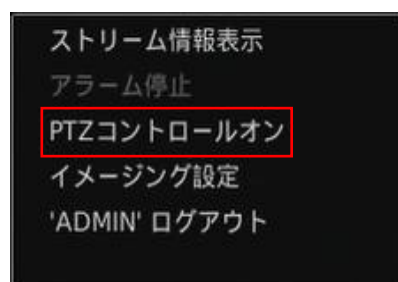
ご注意:

本機能は、PTZ 対応カメラまたは遠隔からの操作が可能な電動バリフォーカル（VF）レンズを搭載したカメラのみ対応しています。

本体操作

ライブビューの映像が表示されている画面で、操作するカメラの画像をダブルクリックし、1 画面表示にします。

画面を右クリックし、表示されるメニューから「PTZ コントロールオン」を選択します。PTZ コントロールメニューが表示されます。



項目	説明
AUTO PAN	カメラが自動でパンをしながら撮影します。
ZOOM	画像を拡大 $\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \otimes \end{smallmatrix}\right)$ / 縮小 $\left(\begin{smallmatrix} \ominus \\ \otimes \end{smallmatrix}\right)$ 表示します。
FOCUS	$\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \oplus \end{smallmatrix}\right)$: 近くにカメラの焦点を合わせます。 $\left(\begin{smallmatrix} \ominus \\ \ominus \end{smallmatrix}\right)$: 遠くにカメラの焦点を合わせます。 $\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \ominus \end{smallmatrix}\right)$: 自動でカメラの焦点を合わせます。
IRIS	$\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \oplus \end{smallmatrix}\right)$ 、 $\left(\begin{smallmatrix} \ominus \\ \ominus \end{smallmatrix}\right)$ 、 $\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \ominus \end{smallmatrix}\right)$: 使用しません。 ※カメラ側で調整してください。
$\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \oplus \end{smallmatrix}\right)$	レンズを水平方向に 180 度回転し、撮影します。
PRESET	登録されたプリセット位置にカメラを移動させます。 ※プリセット位置の登録はカメラ側で設定してください。
DWELL	AUTO PAN で指定した位置で停止する時間を設定します。
SPEED	AUTO PAN を実行中に指定のプリセット位置から別のプリセット位置にカメラが移動する速度を設定します。
$\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \oplus \end{smallmatrix}\right)$ 、 $\left(\begin{smallmatrix} \ominus \\ \ominus \end{smallmatrix}\right)$	使用しません。
$\left(\begin{smallmatrix} \oplus \\ \ominus \end{smallmatrix}\right)$	使用しません。
矢印キー	カメラを手動で撮影位置を変更します。

ご注意:

矢印キーは YC-R04B2、YC-R08B4 の Ver11.0.26 SVN#7346 以前の場合、長押しは無効です。アイコンをクリックするたびに少しずつ変化します。

ブラウザー操作

ブラウザー操作では、[ストリーム] > [ライブ] から一部操作を実行できます。
PTZ カメラを使用した操作の詳細は P.20 をご確認ください。

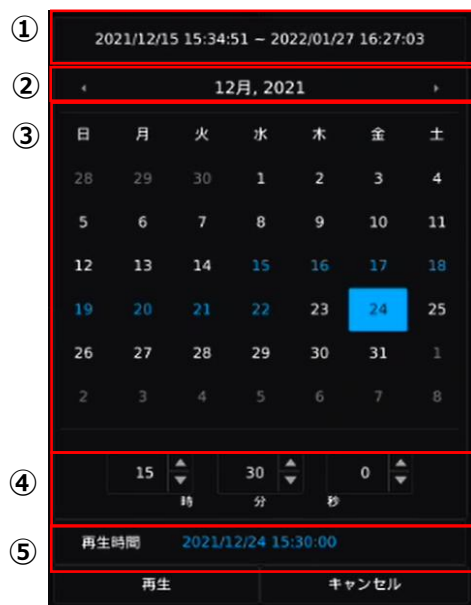


■再生する

再生日時を選択する

本体操作

NVR コントロールメニューの  をクリックします。カレンダーが表示されます。



- ①録画された期間が表示されています。
- ②再生する月を選択します。＜ ＞をクリックすると表示月が変わります。
- ③下記日の色表示を参考に、再生する日を選択します。
- ④再生する時刻を選択します。
- ⑤設定した再生開始の日時が表示されています。

カレンダーの日の色表示について

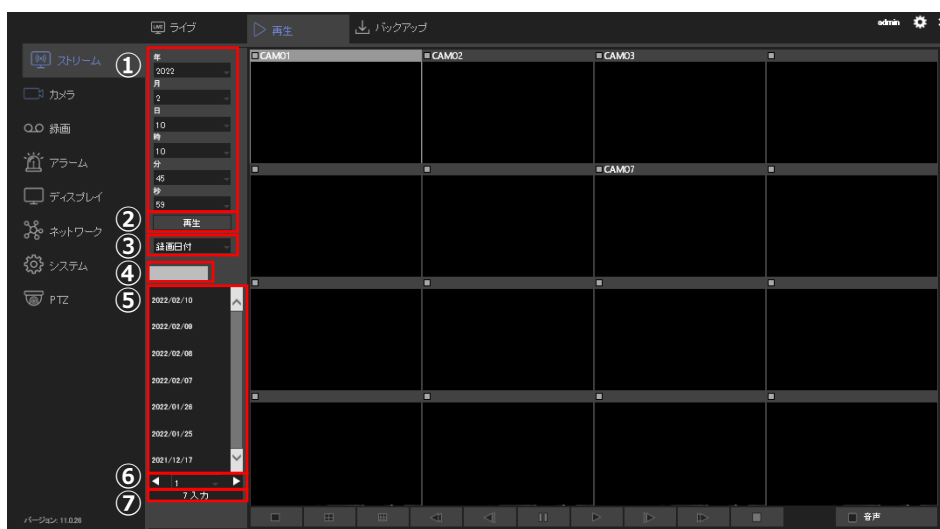
-  録画データがない日
-  録画データがある日
-  現在の日
-  選択された日

設定が完了したら、[再生] をクリックします。

設定日時から再生が開始されます。

ブラウザー操作

[ストリーム] > [再生]  をクリックします。



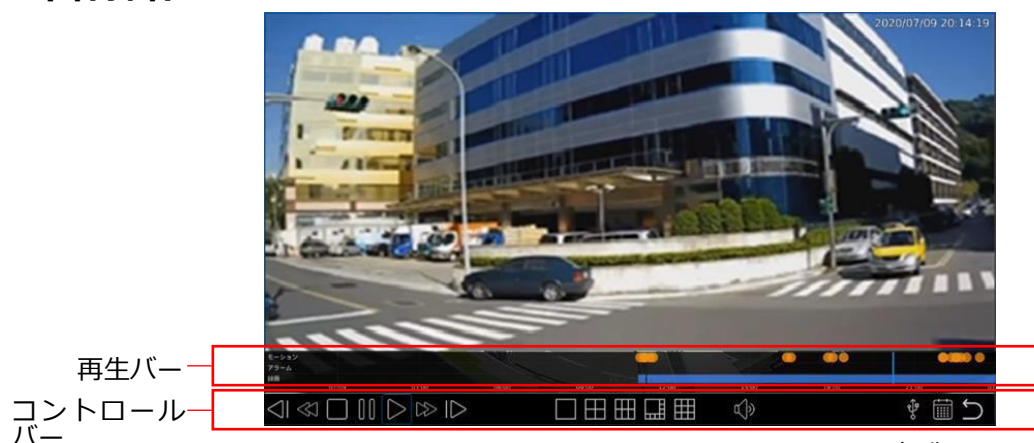
- ①再生する年月日および時刻を選択します。
- ②設定した日時から再生を開始します。
- ③検索する条件（録画日付、動き検出、アラート、手動録画）を選択します。
- ④年月日を入力し検索をおこないます。
- ⑤検索で指定した条件の年月日が表示されています。クリックすると、①に反映されます。
- ⑥リストのページを切り替えます。
- ⑦検索条件に当てはまる録画数が表示されています。

設定が完了したら、②の [再生] をクリックします。

設定日時から再生が開始されます。

画面上での右クリック操作は P.21 をご確認ください。

録画再生を操作する 本体操作



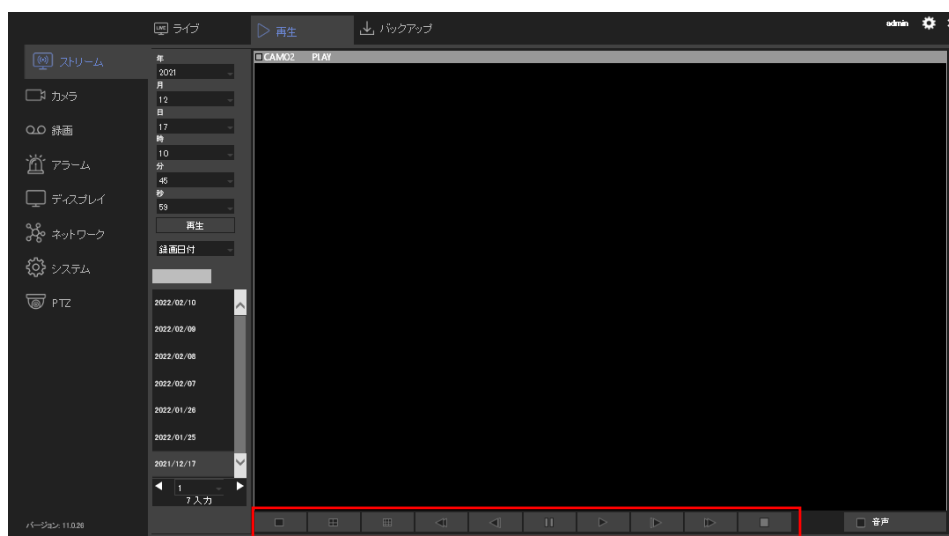
(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

コントロールバーに次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	スロー逆再生：クリックするごとに逆再生する速度が遅くなります。
	逆再生：クリックするごとに逆再生の速度が速くなります。
	再生を停止します。
	再生を一時停止します。
	録画を再生します。
	早送り：クリックするごとに早送りの速度が速くなります。
	スロー再生：クリックするごとに再生速度が遅くなります。
	画面の分割数を選択します。 YC-R04B2 の場合： /YC-R16B8 の場合：
	音声のオン/オフを切り替えます。
	ハードディスクに録画された動画を USB 接続されている USB メモリーに保存します。
	カレンダー画面を表示します。
	ライブビュー画面に戻ります。

再生バーでクリックした位置の時刻から録画映像が再生されます。
マウスのドラッグで時間範囲の移動、マウスホイールを前後に動かすことで、時間間隔の拡大縮小ができます。

ブラウザー操作



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

再生画面下部に次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	1 画面表示するカメラを選択します。
	画面の分割数を選択します。 YC-R04B2 の場合 : YC-R16B8 の場合 :
	逆再生 : クリックするごとに逆再生の速度が速くなります。
	クリックするごとにコマ戻しします。
	再生を一時停止します。
	録画を再生します。
	クリックするごとにコマ送りします。
	早送り : クリックするごとに早送りの速度が速くなります。
	再生を停止します。

録画データを外部媒体にバックアップする

本体操作

 をクリックすることで次の画面が表示され、ハードディスクに録画された動画を USB 接続している USB メモリーにバックアップします。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

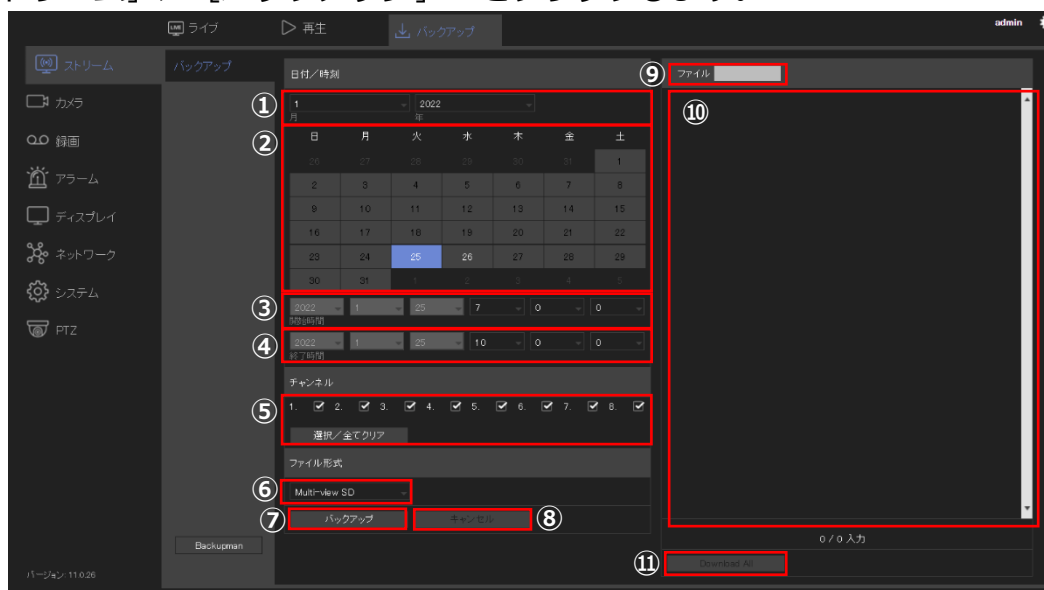
番号	説明
①	録画データのある期間を表示します。
②	USB 接続した USB メモリーの容量を表示します。
③	バックアップの開始日時を設定します。
④	バックアップの終了日時を設定します。
⑤	バックアップするカメラを選択します。
⑥	バックアップするデータの方式を選択します。 右の「推計」をクリックすることで録画データの容量を表示します。
⑦	バックアップを開始します。
⑧	再生画面に戻ります。

外部媒体にバックアップした映像をパソコンで再生する

パソコンに映像をバックアップした USB メモリーを接続して、再生することができます。

ブラウザー操作

［ストリーム］＞［バックアップ］  をクリックします。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

番号	説明
①	バックアップする年月を選択します。
②	バックアップする日を選択します。
③	バックアップの開始時間を設定します。
④	バックアップの終了時間を設定します。
⑤	バックアップするカメラを選択します。
⑥	バックアップするデータの方式を選択します。
⑦	バックアップを開始します。
⑧	バックアップを中断します。
⑨	入力したファイルを検索します。
⑩	バックアップしたファイルが表示されます。クリックするとダウンロードします。MP4 ファイルを選択すると再生します。
⑪	すべてのバックアップしたファイルをダウンロードします。

■ 手動録画する

ご注意:

ブラウザ操作でこの操作は実行できません。

録画方法には、録画の開始／停止を手動でおこなう手動録画と、あらかじめ設定したスケジュールに従って録画の開始／停止を自動でおこなうスケジュール録画があります。

スケジュール録画の On／Offにかかわらず、NVR コントロールメニューの   から手動録画を開始／停止することができます。

 : クリックすると、手動録画を開始します。

 : クリックすると、手動録画が停止します。

メモ:

- ・スケジュール録画で録画中の場合は、手動録画を停止しても録画が継続されます。
- ・手動録画した映像は、映像検索することができます。

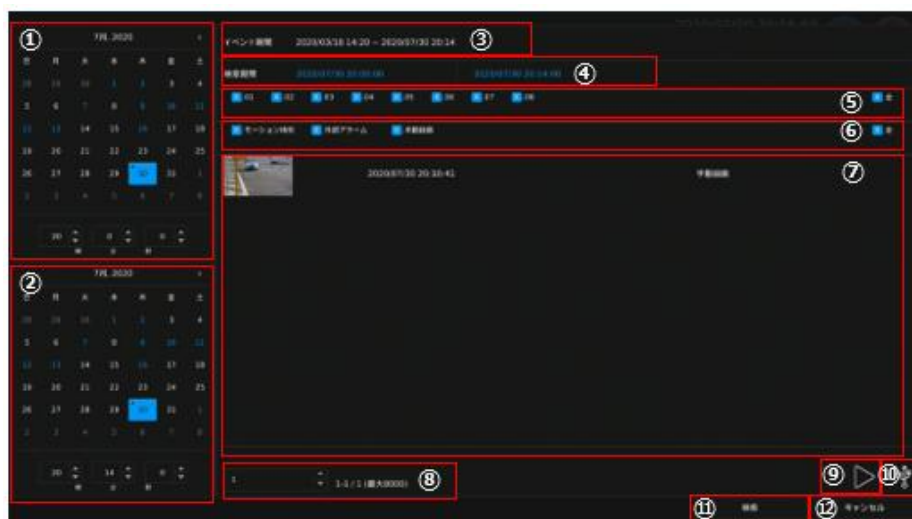
■映像を検索する

ご注意:

ブラウザ操作でこの操作は実行できません。

手動録画したときや、イベントを検知して録画したときの画像などを検索して、再生します。

NVR コントロールメニューの  をクリックして、録画ファイルの検索画面に切り替えます。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

番号	説明
①	検索の開始日時を設定します。
②	検索の終了日時を設定します。
③	録画された期間を表示しています。
④	① ②で設定した検索期間が表示されます。
⑤	検索するカメラを指定します。
⑥	検索するイベントの種類（モーション検知、外部アラーム、手動録画）を指定します。
⑦	検索で該当した録画ファイルをリストで表示します。ファイルごとにサムネール、録画日時、カメラ、イベントの種類が表示されます。
⑧	リストのページを切り替えます。
⑨	選択した録画ファイルを再生します。
⑩	選択した録画ファイルを、USB ポートに接続された USB メモリーにバックアップします。
⑪	検索条件を設定したあと、検索を実行します。
⑫	ライブビューの画面に戻ります。

設定する

■ 設定時のご注意

本ページ以降の各種設定時において、対象外の文字・数値を入力すると画面上部にエラーが表示されます。

表示を消すためには右上の【×】をクリックします。

設定を変更し、反映する場合は〔適用〕、しない場合は〔リセット〕をクリックします。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

■ カメラを追加する・設定する

NVR の設定画面の「カメラ」をクリックし、カメラの設定画面をひらきます。

カメラの設定をする

「一般」タブで NVR に接続されたカメラや新たにカメラを追加するときの設定をします。設定するカメラ[CAM01～]を選択してから設定をおこないます。



（画像は YC-R08B4 の操作画面です。）

項目名	説明
カメラ名	ライブビューなどで表示されるカメラの名称を設定します。
カメラ入力	カメラに NVR で使用されるチャンネルを割り当てます。 [IP Camera] を選択してください。 [Off] を選択した場合、接続しているカメラにチャンネルを割り当てません。
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。 NVR の仮想 IP アドレスを設定すれば、ネットワーク範囲（サブネット）の異なる複数カメラを同時に接続できます。
HTTP ポート番号	HTTP 接続用のポートを入力します。
RTSP ポート番号	RTSP 接続用のポートを入力します。
ユーザー名	カメラのユーザー名を入力します。
パスワード	カメラのパスワードを入力します。 ご注意： 初期設定では pass と入力されているため、正しいカメラのパスワードに変更してください。誤ったパスワードでは接続エラーとなり、ライブビュー映像が表示されません。

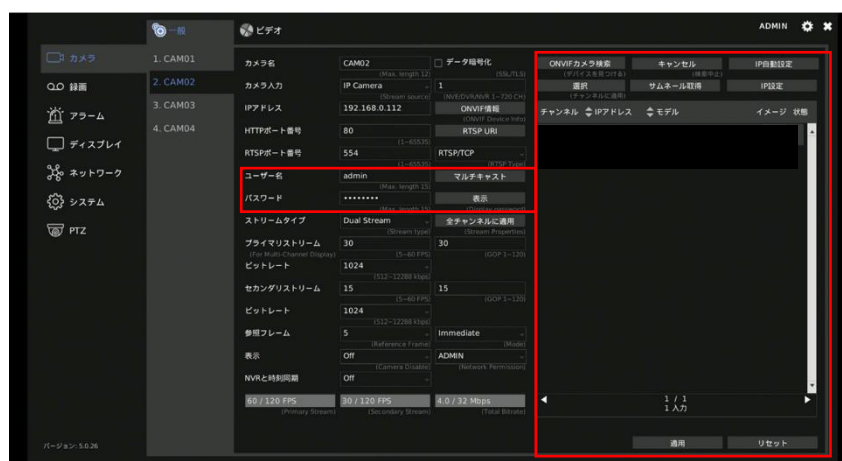
ストリームタイプ	プライマリビデオのみをストリーミングするか、デュアル（プライマリおよびセカンダリ）ビデオをストリーミングするかを選択します。
プライマリストリーム	プライマリストリームの FPS と GOP を選択します。
ビットレート	プライマリストリームのビットレートを設定します。
セカンダリストリーム	セカンダリストリームの FPS と GOP を選択します。ストリームタイプがデュアルの場合に設定できます。
ビットレート	セカンダリストリームのビットレートを設定します。
参照フレーム	デコーダーの参照フレームの数を設定します。 数字を変更することで参照フレームの変更ができます。 録画再生時の音声のずれを小さくしたい場合は[Immediate]を選択、滑らかな映像を表示したい場合は[Smooth]を選択します。 [Smooth] の場合、再生時間が長くなると音声徐徐にずれていきます。
非表示	[On] にするとカメラ映像の表示を無効にします。[Off] の場合、右側のユーザーレベル以上のユーザーがカメラ映像を視聴できます。 (例) [GUEST] : すべてのユーザーが映像を視聴できます。 ログアウト状態でも映像が表示されます。 [OPERATOR] : GUEST のユーザーはログイン状態でも映像を視聴できません。
NVR と時刻同調	接続しているカメラの時刻と NVR の時刻が同期するようにします。
データ暗号化	オンにすると、IP Camera への HTTPS 接続を許可します。推奨される HTTP ポート設定は 443 です。
ONVIF 情報	製造元、モデル番号、ファームウェアバージョン、シリアル番号、ハードウェア ID などの ONVIF デバイス情報を確認できます。
RTSP URI	必要な RTSP URI を割り当てます。NVR は必要な RTSP URI を介してカメラに接続します。ONVIF 接続は起こりません。
マルチキャスト	必要な RTSP マルチキャストアドレス、ポート、TTL を割り当てます。
ONVIFカメラ検索	ネットワーク上の接続されたカメラを検索します。

ONVIF カメラ検索からカメラを追加する

「ONVIF カメラ検索」を利用すると、より簡単にカメラを追加することができます。

「ONVIF カメラ検索」をクリックします。表示されたカメラを選択し、「選択」をクリックすると、カメラ設定（YC-R04B2 : CAM01～CAM04、YC-R08B4 : CAM01～CAM08、YC-R16B8 : CAM01～CAM16）に IP アドレスなどの情報が自動的に入力されます。

「ユーザー名」および「パスワード」の入力欄に、カメラのユーザー名とパスワードを入力し、「適用」をクリックします。



(画像は YC-R04B2 の操作画面です。)

ONVIF カメラ検索の設定・操作項目

項目名	説明
キャンセル	検索を停止します。
IP 自動設定	接続されたカメラに IP アドレスを自動的に割り当てます。
選択	選択しているカメラ（YC-R04B2 : CAM01～CAM04、YC-R08B4 : CAM01～CAM08、YC-R16B8 : CAM01～CAM16）に割り当てます。
サムネール取得	カメラのスナップショットのサムネールを表示します。
IP 設定	接続されたカメラに手動で IP アドレスを割り当てます。

カメラによっては、IP 自動設定および IP 設定が利用できない場合があります。

画像を調整する

NVR の設定画面の「カメラ」をクリックし、「ビデオ」タブで NVR に接続されたカメラのコントラスト、明るさ、彩度、シャープネスなど、画質を調整できます。

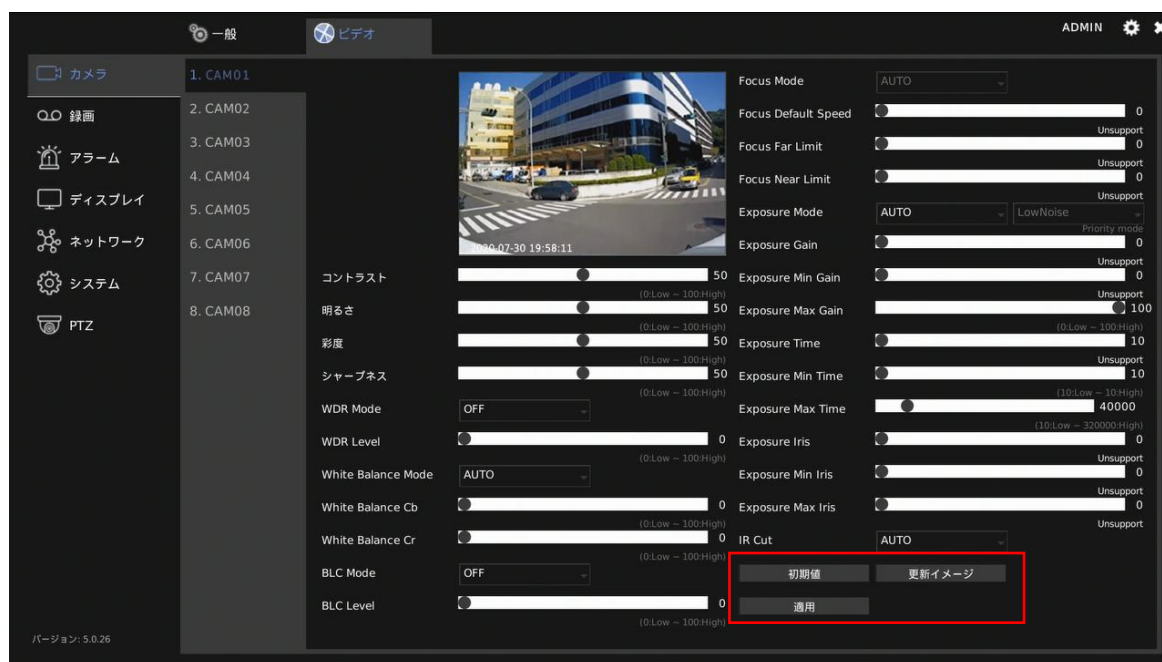
設定するカメラ [CAM01～] を選択してから設定をおこないます。

「初期値」をクリックすると、設定内容を工場出荷時の設定に戻します。

「適用」をクリックして、設定した値をライブビュー映像に反映します。

「更新イメージ」をクリックすると、プレビュー画像が設定した内容に合わせて更新されます。

※ 「適用」をクリックしていない場合は、プレビュー画面が更新されません。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

メモ：

設定内容は「本体操作」の「イメージング設定」の設定内容に反映されます。「ブラウザー操作」に「イメージング設定」はありません。

調整可能な項目は、接続するカメラによって異なります。

■ 録画を設定する

NVR の設定画面の「録画」📹をクリックし、録画の設定画面をひらきます。

録画に関する設定をする

「一般」タブで録画に関する設定をします。設定するカメラを選択してから、設定をおこないます。



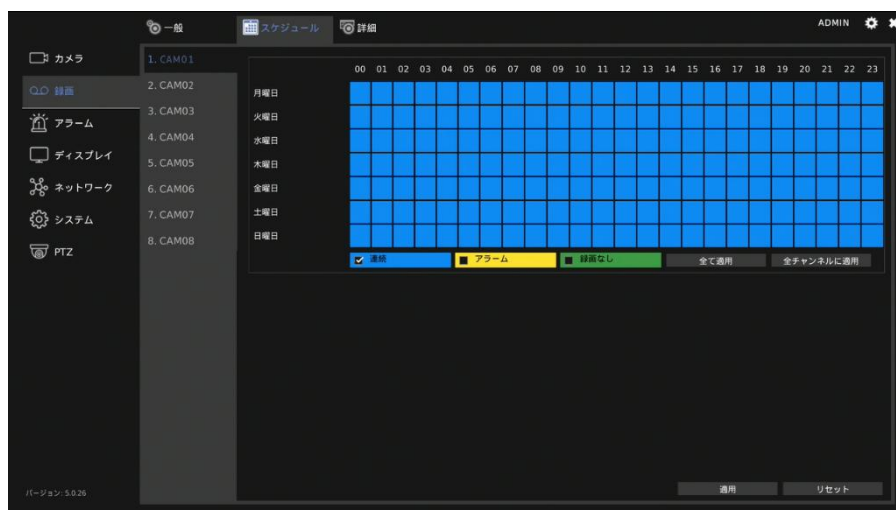
(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

項目名	説明
録画モード	スケジュール録画をおこなうかを設定します。
音声	録画のときに、音声も録音するかを設定します。 マイク内蔵カメラまたはカメラに外部マイクを接続した場合のみ録音できます。 メモ： ライブビューの音声も連動して切り替わります。On から Off に切り替えた場合、ライブビューの音声も出力されなくなります。
ポストアラーム録画	アラームが発生したあと、追加で録画する時間を設定します。
効率録画	効率録画が有効のときは、低いフレームレート（約 4～5 FPS）で記録します。

録画スケジュールを設定する

NVR の設定画面の「録画」をクリックし、「スケジュール」タブで録画のスケジュールを設定します。

設定するカメラ [CAM01～] を選択してから設定をおこないます。



（画像は YC-R08B4 の操作画面です。）

スケジュールを変更するときは、録画タイプを「連続」（連続録画）、「アラーム」（イベントが発生したときにのみ録画）、または「録画なし」から選択し、設定したい曜日と時刻を選択します。選択した曜日と時刻が選択した録画タイプの色に変更されます。

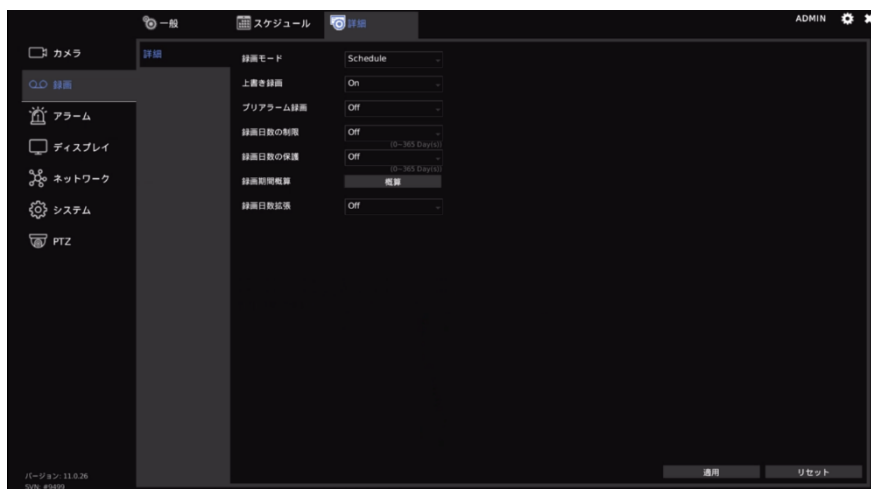
青色：連続録画 **黄色**：アラーム録画 **緑色**：録画なし

「全て適用」をクリックすると、選択した録画タイプをすべての曜日と時刻に適用します。

「全チャンネルに適用」をクリックすると、設定した録画スケジュールをすべてのカメラに適用します。

スケジュール録画の詳細を設定する

NVR の設定画面の「録画」をクリックし、「詳細」タブでスケジュール録画の詳細を設定します。



項目名	説明
録画モード	Manual（手動録画）か Schedule（スケジュール録画）をおこなうかを設定します。
上書き録画	この機能を有効にすると、ストレージがいっぱいになったときに、古いファイルから順次録画を上書きします。
プリアラーム録画	この機能を有効にすると、アラーム録画の際にアラーム発生時点の 2 秒前から録画します。
録画日数の制限	ストレージに保存しておく録画データを録画日数で制限したい場合に使用します。設定した日数より前の録画データはすべて破棄されます。 （例）2 日に設定した場合、現時点から 2 日前（48 時間前）より以前の録画データはすべて消去されます。
録画日数の保護	ストレージに保存されている録画データについて、必ず保存しておきたい日数を設定したい場合に使用します。設定した日数分の録画データは保護されますが、それ以前のデータは上書き録画によって消去される場合があります。
録画期間概算	概算ボタンをクリックすると以下の数値を算出します。 平均ビットレート : NVR が受信した直近 10 秒の平均ビットレート 録画可能サイズ : 搭載されているストレージの録画可能な最大容量 録画期間概算 : 録画可能サイズと平均ビットレートから算出した数値 録画可能日数については、「はじめに」の「HDD 録画目安」の表もご参照ください。 ご注意: この数値は、「録画日数拡張」と「システムリザーブ比」を反映しておりません。「システムリザーブ比」は P77 の「HDD 情報」をご確認ください。

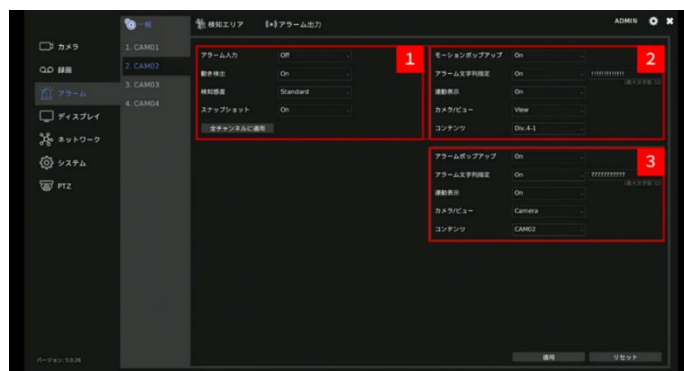
録画日数拡張	この機能を有効(On)にすると、録画可能日数が増えます。 ご注意: 有効(On)の場合、再生/早送り/逆再生操作時の速度と滑らかさに影響がでます。また、有効(On)に設定した以降の録画データより反映されます。この機能は、YC-R04B2、YC-R08B4、YC-R16B8 の Ver11.0.26 SVN#9499 以降で利用できます。
--------	---

■ アラームを設定する

NVR の設定画面の「アラーム」をクリックし、アラームの設定画面をひらきます。

アラームを設定する

「一般」タブでアラームを設定します。設定するカメラ [CAM01～] を選択してから設定をおこないます。



(画像は YC-R04B2 の操作画面です。)

1	項目名	説明
	アラーム入力	アラーム入力の種類を Off、外部入力機器 (Normal Open)、外部入力機器 (Normal Close)、またはカメラ (IP Camera) から選択します。カメラに設定したときは、カメラからの信号を受信したときにのみアラーム入力を検知します。
	動き検知	動き検知の On/Off を切り替えます。あらかじめ、検知エリアタブで検知エリアを設定してください。
	検知感度	動き検知の感度を調整します。感度が高いほど、検知されやすくなります。
	スナップショット	アラームが検知されたときにスナップショットをストレージに保存できます。
	全チャンネルに適用	設定したアラーム設定をすべてのカメラに適用します。

2	項目名	説明
	モーションポップアップ	動き検知したときに、対象カメラの映像に「モーション検知」をポップアップします。
	アラーム文字列指定	動き検知したときに、対象カメラの映像に設定した文字列を重ねて表示します。
	連動表示	動きを検知したときに、カメラ/ビューで選択した表示に切り替えます。
	カメラ/ビュー	動きを検知したときの表示を設定します。30 秒後、もとの表示に戻ります。 Camera: コンテンツで選択したカメラの映像を 1 画面表示します。 View: コンテンツで選択したレイアウトを表示します。
	コンテンツ	「カメラ/ビュー」で表示する内容を設定します。

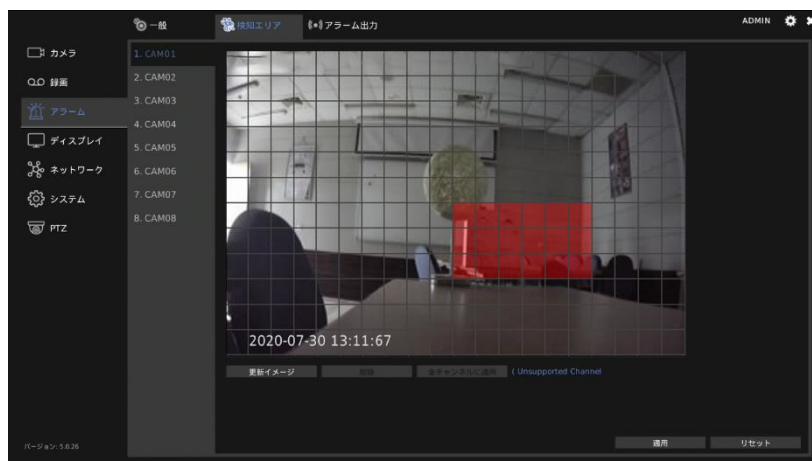
3

項目名	説明
アラームポップアップ	アラーム検知したときに、対象カメラの映像に「アラーム」をポップアップします。
アラーム文字列指定	アラーム検知したときに、対象カメラの映像に設定した文字列を重ねて表示します。
連動表示	アラーム検知したときに、カメラ/ビューで選択した表示に切り替えます。
カメラ/ビュー	アラーム検知したときの表示を設定します。30 秒後、もとの表示に戻ります。 Camera : コンテンツで選択したカメラの映像を 1 画面表示します。 View : コンテンツで選択したレイアウトを表示します。
コンテンツ	「カメラ/ビュー」で表示する内容を設定します。

動き検知の範囲を設定する

NVR の設定画面の「アラーム」 をクリックし、「検知エリア」タブで動き検知の範囲を設定します。

設定するカメラ [CAM01～] を選択してから設定をおこないます。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

動き検知を設定したい範囲を設定します。カーソルを合わせて始点を設定し、終点までドラッグします。設定範囲に指定された領域は、色が変わります。

「全チャンネルに適用」をクリックすると、検知エリアの範囲をすべてのカメラチャンネルに適用します。

「更新イメージ」をクリックすると、プレビュー画像を更新します。

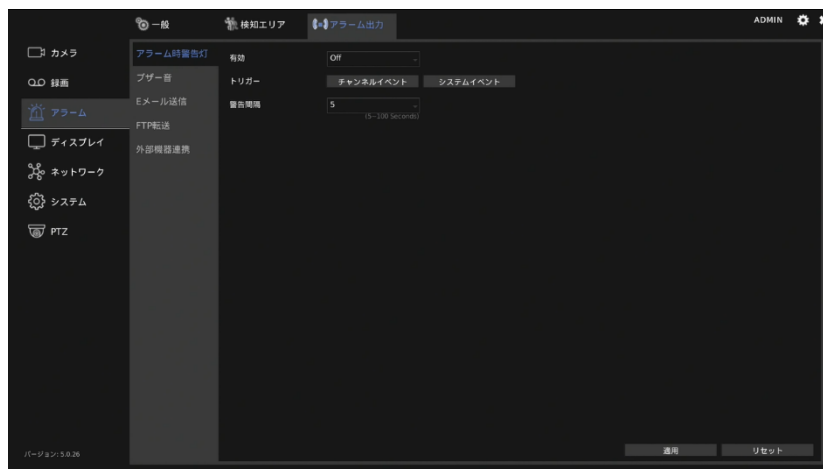
「削除」をクリックすると設定した検知エリアを全て削除します。

ご注意:

検知エリアを設定するためにはカメラ側の動体検知を有効にする必要があります。カメラとの組み合わせによって、NVR からカメラの動体検知を有効にすることや、検知エリアの設定は、できない場合があります。

アラーム出力を設定する

NVR の設定画面の「アラーム」をクリックし、「アラーム出力」タブでイベント発生時のアラームを設定します。



● アラーム時警告灯



項目名	説明
有効	On にすると、アラームが発生したときに、NVR フロントパネルのアラームランプが点滅します。
トリガー	アラームが発生したときにアラームランプが点滅する条件をチャンネルイベントとシステムイベントで設定します。チャンネルイベントとシステムイベントについては、後述の「チャンネルイベントとシステムイベントについて」をご確認ください。
アラーム表示時間	アラームが発生したときにアラームランプが点滅する時間を設定します。

● ブザー音



項目名	説明
有効	On にすると、アラームが発生したときにブザーを鳴らします。
トリガー	ブザー音を鳴らす条件をチャンネルイベントとシステムイベントで設定します。チャンネルイベントとシステムイベントについては後述の「チャンネルイベントとシステムイベントについて」をご確認ください。
アラーム表示時間	アラームが発生したときにブザーを鳴らす時間を設定します。

● Eメール送信



項目名	説明
有効	On にすると、アラームが発生したときに E メールをあらかじめ設定されている宛先に送信します。
トリガー	E メール送信の条件をチャンネルイベントとシステムイベントで設定します。チャンネルイベントとシステムイベントについては後述の「チャンネルイベントとシステムイベントについて」をご確認ください。
警告間隔	アラームが発生したときに E メールを送信する間隔を設定します。

● FTP 転送



項目名	説明
有効	On にすると、アラームが発生したときに録画映像をあらかじめ設定されている FTP の宛先に送信します。
トリガー	FTP 転送の条件をチャンネルイベントで設定します。チャンネルイベントについては後述の「チャンネルイベントとシステムイベントについて」をご確認ください。
警告間隔	アラームが発生したときに録画映像を送信する間隔を設定します。

● 外部機器連携



項目名	説明
有効	On にすると、アラームが発生したときに NVR に接続している外部機器にアラームの発生を通知します。
マニュアル操作	On にすると NVR のコントロールメニューにてアイコン  が表示されます。 参照：P13「下の NVR コントロールメニュー」
トリガー	外部機器連携の条件をチャンネルイベントとシステムイベントで設定します。チャンネルイベントとシステムイベントについては後述の「チャンネルイベントとシステムイベントについて」をご確認ください。
アラーム表示時間	アラームが発生したときにアラームの情報を送信する時間を設定します。

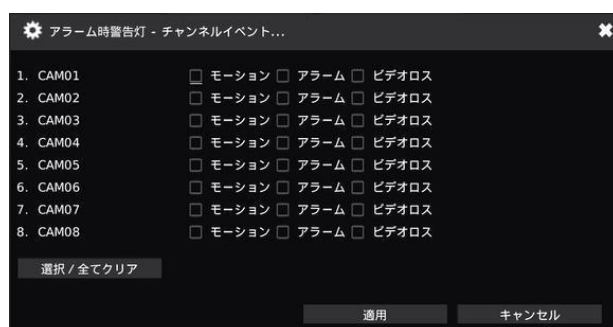
● チャンネルイベントとシステムイベントについて

チャンネルイベントはカメラで設定したイベントのことを指します。チャンネルイベントでは次のイベントを設定できます。

項目名	説明
モーション	カメラで動き検知が検出されたとき
アラーム	カメラにアラームが通知されたとき
ビデオロス	カメラからの信号が途絶したとき

設定するときは、チャンネルイベントをクリックします。

下の画面が表示されます。設定したいイベントにチェックを入れ、[適用] をクリックします。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

ご注意:

「FTP 転送」では「ビデオロス」を設定できません。

システムイベントは NVR の内蔵ストレージでエラーが発生したときのイベントを指します。システムイベントでは次のイベントを設定できます。

項目名	説明
HDD S.M.A.R.T 異常	S.M.A.R.T.エラーが検出されたとき
HDD トラックエラー	HDD エラーが検出されたとき

設定するときは、システムイベントをクリックします。

下の画面が表示されます。設定したいイベントにチェックを入れ、[適用] をクリックします。



■映像表示を設定する（ディスプレイ設定）

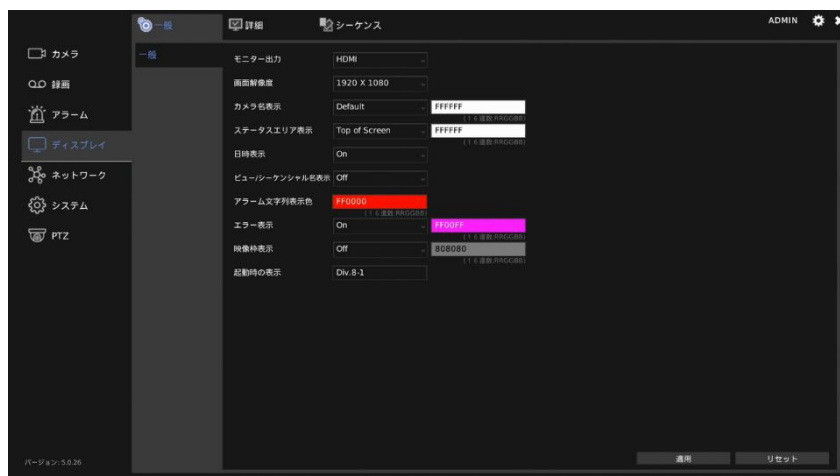
ご注意:

ディスプレイ設定は、NVR をディスプレイに接続したときの設定です。

NVR の設定画面の「ディスプレイ」■をクリックし、ディスプレイの設定画面をひらきます。

ディスプレイの表示を設定する

「一般」タブで表示の設定をします。

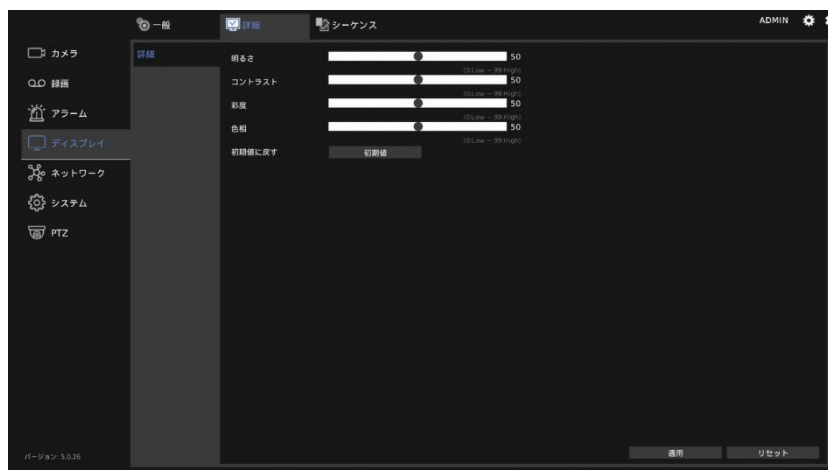


項目名	説明
モニター出力	モニター出力端子を HDMI または DVI（VGA 端子）から選択します。
画面解像度	画面の解像度を設定します。
カメラ名表示	カメラ名の表示位置と表示するときの文字色を設定します。
ステータスエリア表示	ステータスの表示位置と表示するときの文字色を設定します。
日時表示	日時の表示/非表示を設定します。
ビュー/シーケンシャル名表示	On にすると、画面に適用している表示方法で表示します。 レイアウト表示の場合：デフォルトビュー（4 分割 1）-1 など シーケンシャル表示の場合：シーケンシャルカメラなど
アラーム文字列表示色	アラーム時の表示するときの文字色を設定します。
エラー表示	ライブビューでのエラーメッセージの表示、文字色と背景色を設定します。
映像枠表示	映像の枠の幅を指定します。

起動時の表示	クリックすると「タイプ」「コンテンツ」の項目が表示され、NVR の起動が完了した後に表示する映像を選択します。 タイプ Camera: コンテンツで選択したカメラを 1 画面表示します。 View: コンテンツで選択した分割画面を表示します。 Sequential: コンテンツで選択したシーケンシャル表示を表示します。 コンテンツ 「タイプ」で設定した項目の内容を選択します。 ご注意: ブラウザ操作でこの操作は実行できません。
---------------	--

画像の明るさなどを設定する

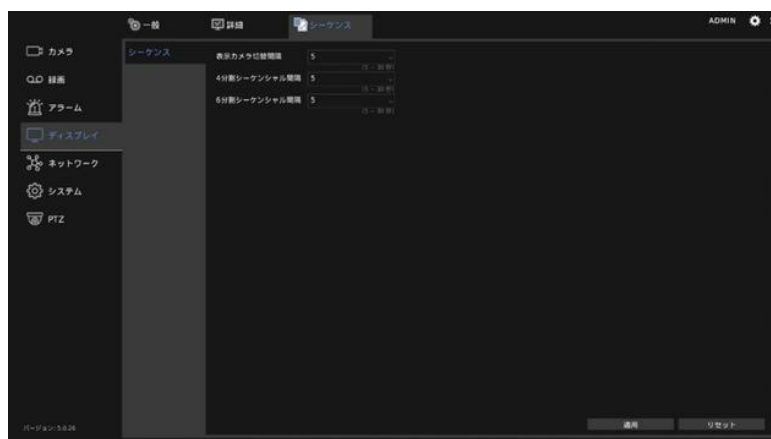
NVR の設定画面の「ディスプレイ」をクリックし、「詳細」タブで画像の明るさなどを設定します。



明るさ、コントラスト、彩度、色相を設定します。[初期値] をクリックすると、設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

シーケンシャル間隔を設定する

NVR の設定画面の「ディスプレイ」をクリックし、「シーケンス」タブで複数のカメラ画像を順次切り替える間隔を設定します。



項目名	説明
表示カメラ切替間隔	1 画面表示の時に、カメラの画像を切り替える間隔を設定します。
4 分割シーケンシャル間隔	4 画面表示の時に、カメラの画像を切り替える間隔を設定します。（YC-R08B4,YC-R16B8 のみ）
6 分割シーケンシャル間隔	6 画面表示の時に、カメラの画像を切り替える間隔を設定します。（YC-R08B4,YC-R16B8 のみ）
8 分割シーケンシャル間隔	8 画面表示の時に、カメラの画像を切り替える間隔を設定します。（YC-R16B8 のみ）
9 分割シーケンシャル間隔	9 画面表示の時に、カメラの画像を切り替える間隔を設定します。（YC-R16B8 のみ）
12 分割シーケンシャル間隔	12 画面表示の時に、カメラの画像を切り替える間隔を設定します。（YC-R16B8 のみ）
13 分割シーケンシャル間隔	13 画面表示の時に、カメラの画像を切り替える間隔を設定します。（YC-R16B8 のみ）

■ ネットワーク設定

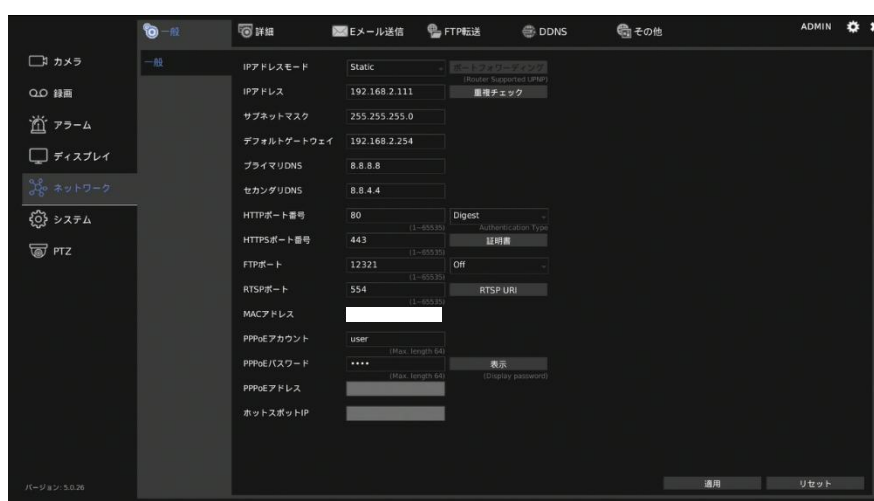
NVR の設定画面の「ネットワーク」をクリックし、ネットワークの設定画面をひらきます。

ネットワークの設定をする

「一般」タブでネットワークの設定をします。

ご注意:

ブラウザ操作の場合、ネットワークを変更するとアクセスできなくなる場合があります。



項目名	説明
IP アドレスモード	NVR で使用する IP アドレスのタイプを Static (固定)、DHCP、PPPoE から選択します。
IP アドレス	「IP アドレスモード」で「Static」(固定)を選択した場合、使用する IP アドレスを入力します。「IP アドレスモード」で「DHCP」、「PPPoE」を選択した場合は、自動的に IP アドレスが割り振られます。[重複チェック]をクリックすると、設定した IP アドレスが他のデバイスで使用されていないか確認できます。 ※重複チェックは適用前に実行してください。一度適用すると、適用済の IP アドレスとして認識され、「利用不可な IP アドレス」と表示されます。
サブネットマスク	「IP アドレスモード」で「Static」(固定)を選択した場合、使用するサブネットマスクを入力します。「IP アドレスモード」で「DHCP」、「PPPoE」を選択した場合は、自動的にサブネットマスクが割り振られます。
デフォルトゲートウェイ	「IP アドレスモード」で「Static」(固定)を選択した場合、使用するデフォルトゲートウェイを入力します。「IP アドレスモード」で「DHCP」、「PPPoE」を選択した場合は、自動的にデフォルトゲートウェイが割り振られます。
プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバーを入力します。
セカンダリ DNS	「プライマリ DNS」で設定した DNS サーバーが利用できない場合に備えて、セカンダリ DNS サーバーを入力します。
HTTP ポート番号	NVR で使用する HTTP ポート番号を設定します。HTTP サーバーの認証方式を None /Basic/Digest から選択します。
HTTPS ポート番号	NVR で使用する HTTPS ポート番号を設定します。HTTPS サーバーで使用する証明書の設定をおこなうときは[証明書]をクリックします。
FTP ポート	NVR で使用する FTP ポートを指定します。 On/Off にて使用するかを設定します。
RTSP ポート	NVR で使用する RTSP ポートを指定し、[RTSP URI]で RTSP のアドレスを設定します。
MAC アドレス	NVR の MAC アドレスを表示します。
PPPoE アカウント	「IP アドレスモード」で「PPPoE」を選択した場合、使用する PPPoE アカウントを入力します。
PPPoE パスワード	「IP アドレスモード」で「PPPoE」を選択した場合、使用する PPPoE パスワードを入力します。[表示]をクリックすると、隠されていた文字が表示されます。
PPPoE アドレス	PPPoE 接続をしている場合、PPPoE アドレスを表示します。
ホットスポット IP	ホットスポット IP を表示します。

● HTTPS の証明書について

NVR では、HTTPS プロトコルをサポートしています。HTTPS プロトコルは、ユーザーのコンピューターと Web サイト間を移動するデータの機密性を保証するインターネットプロトコルです。

HTTPS プロトコルは、HTTP プロトコルの高度なセキュリティバージョンと見なすことができます。SSL プロトコルがセキュリティ証明書として追加されます。

このプロトコルで送信した場合、仮に送信されたデータを傍受されたとしても、データを直接見るのを防ぐことができます。証明書の設定をおこなうときは、HTTPS ポート番号の [証明書] をクリックします。

1. 自己署名の証明書を作成する場合

国コードや住所、組織や証明書の有効期限などを入力し、[自己署名証明書の作成] をクリックします。設定が終われば、[Exit] をクリックします。

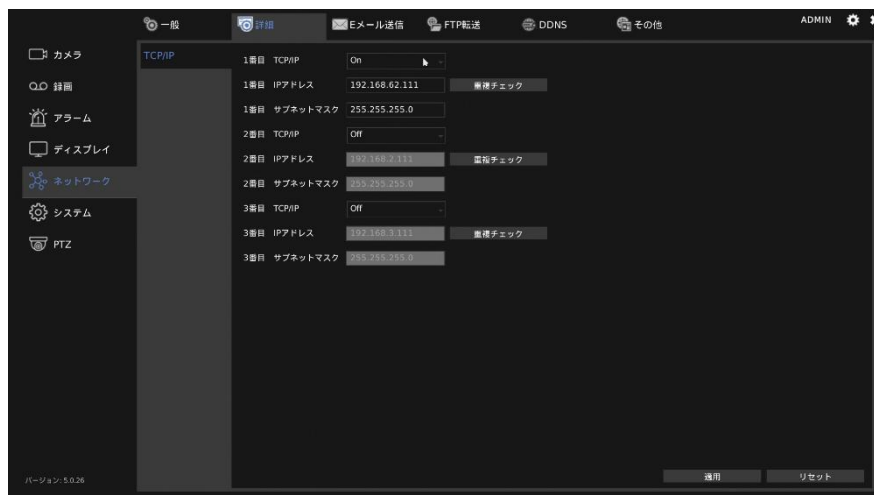
2. 認証機関などからの証明書を使用する場合

国コードや住所、組織や証明書の有効期限などを入力し、[証明書署名要求の生成] をクリックします。次に [証明書のエクスポート] をクリックし、お使いのコンピューターに証明書の情報をダウンロードして、公式の証明書を認証機関に要求します。認証機関から証明書を手に入れたあと、[証明書のインポート] をクリックします。設定が終われば、[Exit] をクリックします。

仮想 IP アドレスを設定する

NVR に複数の IP アドレスを割り当てたいときに使用します。

NVR の設定画面の「ネットワーク」をクリックし、「詳細」タブで仮想 IP アドレスの設定をします。



項目名	説明
1 番目 TCP/IP、 2 番目 TCP/IP、 3 番目 TCP/IP	TCP/IP を有効にするかを設定します。
1 番目 IP アドレス、 2 番目 IP アドレス、 3 番目 IP アドレス	使用する IP アドレスを入力します。[重複チェック] をクリックすると、入力した IP アドレスがネットワーク上で使用されていないか確認できます。 重複チェックは適用前に実行してください。一度適用すると、適用済の IP アドレスとして認識され、「利用不可な IP アドレス」と表示されます。
1 番目 サブネットマスク、 2 番目 サブネットマスク、 3 番目 サブネットマスク	使用するサブネットマスクを入力します。

E メール送信を設定する

NVR の設定画面の「ネットワーク」をクリックし、「E メール送信」タブで E メールを送信設定をします。

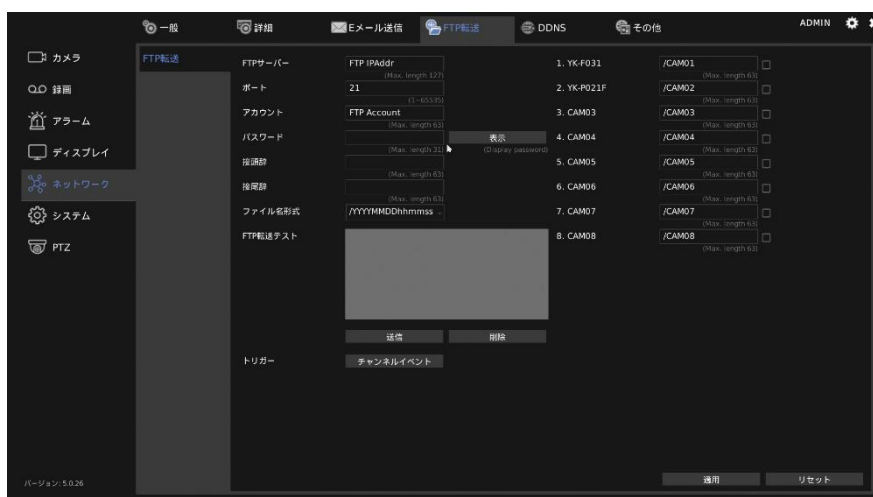


項目名	説明
E メールアドレスリスト	登録済みの E メールアドレス一覧を表示します。初期設定ではサンプル例が表示されます。 ※使用するときには、サンプル例を最初に変更してください。
編集	リストを選択し、設定する E メールアドレスを入力後 [編集] をクリックして内容を反映します。
認証	E メールサーバーのアカウントにログインする際に認証が必要かを設定します。
SSL/TLS	E メールサーバーとの接続で暗号化が必要な場合、使用するプロトコルを設定します。
E メールアカウント	E メールサーバーのアカウント名を入力します。
E メールパスワード	E メールサーバーのパスワードを入力します。
送信者	E メールに表示する名前を入力します。
メールサーバー	E メールサーバーの IP アドレス、またはドメインアドレスを入力します。
ポート	E メールサーバーのポート番号を入力します。
JPEG ファイル	アラームが検知されたときに JPEG 写真を添付するかを設定します。
トリガー	E メール送信する条件をチャンネルイベントとシステムイベントで設定します。チャンネルイベントとシステムイベントについては前述の「チャンネルイベントとシステムイベントについて」をご確認ください。
候補	登録済みの E メールアドレスを選択して、下矢印をクリックして、「受信者」に登録します。
受信者	Eメールの受信者を設定します。上矢印をクリックすると「受信者」のリストから外れ、「候補」に移動します。 E メールアドレスリストの 1 番は「受信者」リストから「候補」に移動することはできません。

注記	E メールで送信する通知内容を登録します。
E メール送信テスト	E メールが正しく送信されるかをテストします。[送信]をクリックすると登録した「受信者」にテストメールが送信されます。

FTP 転送を設定する

NVR の設定画面の「ネットワーク」をクリックし、「FTP 転送」タブで FTP の送信設定をします。

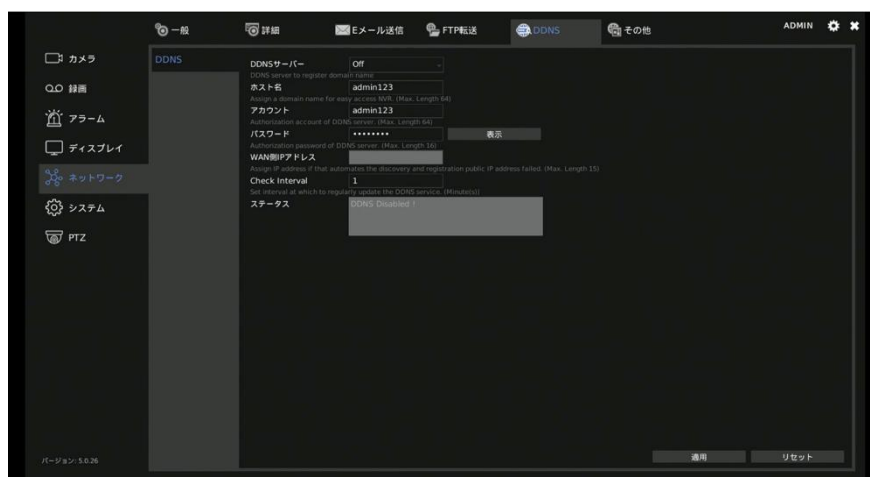


項目名	説明
FTP サーバー	FTP サーバーの IP アドレスを入力します。
ポート	FTP サーバーのポートを入力します。
アカウント	FTP サーバーのアカウントを入力します。
パスワード	FTP サーバーのパスワードを入力します。[表示]をクリックすると、隠されていた文字が表示されます。
接頭辞	送信するスナップショットのファイル名の接頭辞を設定します。 例)接頭辞 : SHARP ファイル名 : 20210720 → SHARP 20210720
接尾辞	送信するスナップショットのファイル名の接尾辞を設定します。 例)接尾辞 : SHARP ファイル名 : 20210720 → 20210720 SHARP
ファイル名形式	ファイル名の形式を設定します。
FTP 転送テスト	FTP に正しくファイルが送信されるかをテストします。 [送信] をクリックすると登録した FTP サーバーにテスト用のファイルが送信されます。
トリガー	FTP サーバーにファイルを送信する条件をチャンネルイベントで設定します。チャンネルイベントについては前述の「チャンネルイベントとシステムイベントについて」をご確認ください。

カメラごとのフォルダー指定	FTP にファイルを送信するときに、FTP にファイルを送信するカメラを指定します。選択するときは、右のチェックボックスにチェックを入れます。 また設定したカメラごとに送信フォルダーを設定できます。  (画像は YC-R08B4 の操作画面です。)
---------------	---

DDNS を設定する

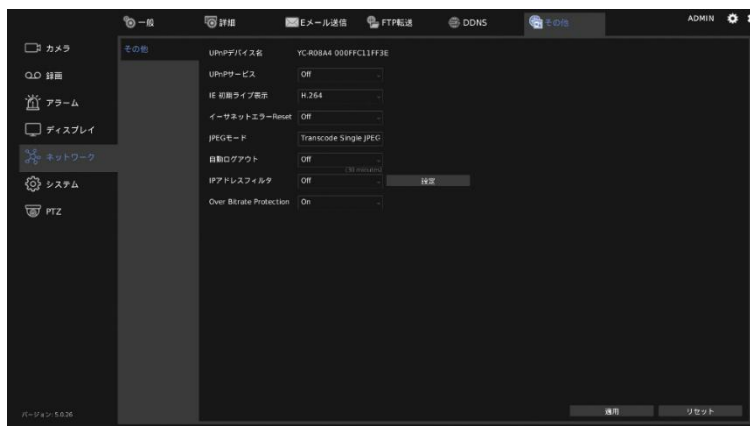
NVR の設定画面の「ネットワーク」をクリックし、「DDNS」タブで DDNS の設定をします。

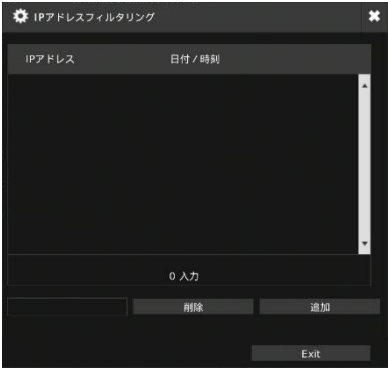


項目名	説明
DDNS サーバー	使用する DDNS サーバーを設定します。
ホスト名	DDNS サーバーのホスト名を入力します。
アカウント	DDNS サーバーのアカウントを入力します。
パスワード	DDNS サーバーのパスワードを入力します。[表示] をクリックすると、隠されていた文字が表示されます。
WAN 側 IP アドレス	NVR が正しいアドレスを自動的に取得できない場合に、WAN の IP アドレスを入力します。
Check Interval	NVR が DDNS 接続をチェックする間隔を設定します。
ステータス	DDNS サーバーの接続状態を表示します。

その他の設定

NVR の設定画面の「ネットワーク」をクリックし、「その他」タブで今までの設定以外のネットワークに関する内容を設定します。



項目名	説明
UPnP デバイス名	UPnP ネットワークにあるデバイス名が表示されます。
UPnP サービス	UPnP サービスの有効にするかを設定します。
IE 初期ライブ表示	Microsoft Edge IE モードを使用して、映像をストリーミングするときのストリーミングタイプを選択します。
イーサネットエラーReset	イーサネットエラーが検出されたときに、イベントテーブルにエラーでリセットした内容を記録します。
JPEG モード	Eメールなどで送信する JPEG ファイルのファイル形式を設定します。
自動ログアウト	ブラウザから接続し、一定時間操作がなかった場合、自動的にログアウトする設定をします。
IP アドレスフィルタ	IP フィルタリング機能を有効にするかを設定します。[設定] をクリックすると、IP アドレス設定ダイアログを開きます。入力欄からアクセスを拒否したい IP アドレスを入力し、[追加] をクリックします。 
Over Bitrate Protection	ネットワークの入力スループットが制限を超えたとき、ライブビデオのデコードを減らして記録データを保護する機能を有効にするか設定します。

■ システム設定

NVR の設定画面の「システム」をクリックし、システムの設定画面をひらきます。

基本設定をする

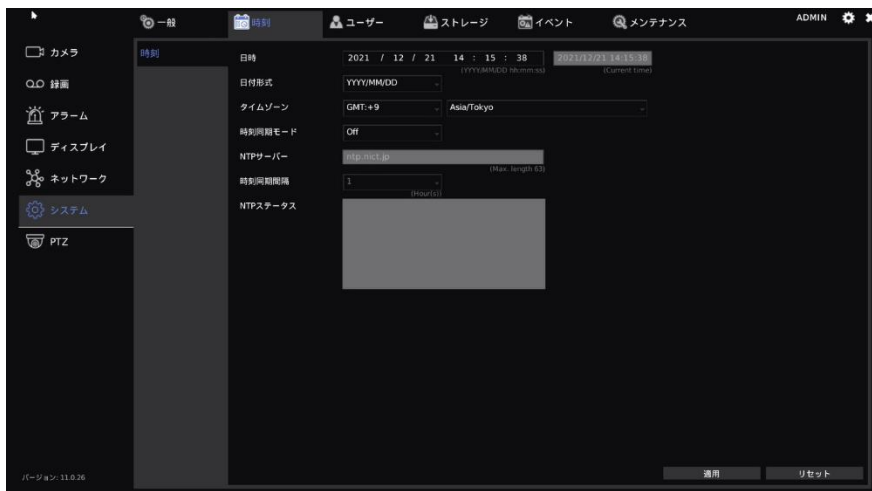
「一般」タブで NVR の基本的な設定をします。



項目名	説明
音声出力ボリューム	NVR の音量を設定します。
最終起動時刻	NVR が最後に起動された時刻を表示します。
自動ログアウト	一定時間操作がなかった場合に、自動的にログアウトする設定をします。（Off～30 分）
自動ログイン	NVR の電源がオンになったときに自動的にログオンするユーザーアカウントを設定します。
装置名	NVR の名前を設定します。
アイドルタイム	メイン画面の NVR コントロールメニューの表示が、マウス無操作になってから消えるまでの時間を設定します。

時刻を設定する

NVR の設定画面の「システム」をクリックし、「時刻」タブで NVR の時間に関する設定をおこないます。



項目名	説明
日時	NVR の日付と時刻を設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。
タイムゾーン	NVR が設置されている場所のタイムゾーンを設定します。
時刻同期モード	時間の同期方法を選択します。 Off もしくは NTP をご使用ください。 Off : 時刻を手動で入力します。 NTP : NTP サーバーに接続し、時刻を同期します。
NTP サーバー	時間の同期に使用する NTP サーバーを入力します。
時刻同期間隔	同期する時間の間隔を設定します。
NTP ステータス	選択した NTP サーバーへの接続ステータスが表示されます。

ユーザー設定する

NVR の設定画面の「システム」をクリックし、「ユーザー」タブで NVR を使用するユーザーに関する設定をおこないます。ADMIN、OPERATOR、GUEST、USER01～USER12 をそれぞれ選択し、設定をおこないます。



項目名	説明
ユーザー名	ユーザー名を登録します。ADMIN、OPERATOR、GUEST は固定されていて設定できません。
古いパスワード	ログインしているユーザーのパスワードを変更するときに入力します。いままで使用していたパスワードを入力します。 [表示] をクリックすると、隠されていた文字が表示されます。
新しいパスワード	新しく設定したいパスワードを入力します。[表示] をクリックすると、隠されていた文字が表示されます。 ※ADMIN のパスワードの変更は ADMIN でログインしている場合のみ変更できます。
パスワード確認	「新しいパスワード」で入力したパスワードを確認のため再入力します。[表示] をクリックすると、隠されていた文字が表示されます。
ユーザー許可	ユーザーレベルを Admin、Operator、または Guest に設定します。 ユーザーレベルによって表示できるカメラを変更することができます。 設定方法は、P.51[非表示]の項目をご確認ください。
設定、再生、イベント、PTZ、バックアップ、シャットダウン、アラーム、遠隔ライブ閲覧、遠隔録画再生	設定できる権限を設定します。チェックマークがついた機能が使用できるようになります。

[初期値] をクリックすると、アクセス権限などの設定が工場出荷時状態に戻ります。

[適用] をクリックして、設定を反映します。

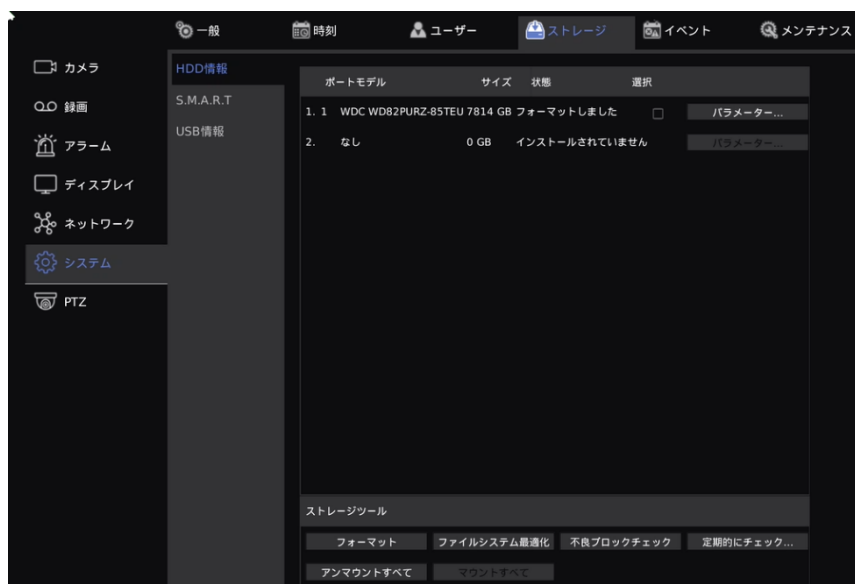
ご注意:

ADMIN、OPERATOR、GUEST はメッセージが表示され、初期値に戻すことができません。

権限を付与した状態で USER01～USER12 でログインし、初期値に戻してしまうと、権限が初期化され、画面が表示されなくなります。

ストレージを設定する

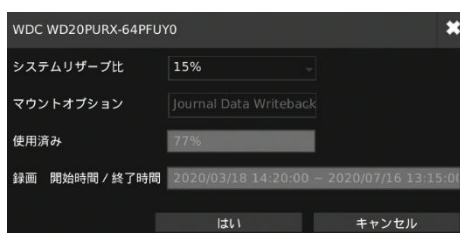
NVR の設定画面の「システム」をクリックし、「ストレージ」タブで NVR のストレージに関する設定をおこないます。



● HDD 情報

NVR に内蔵されているストレージを表示します。

ストレージを確認する場合は、[パラメーター...] をクリックします。「システムリザーブ比」は、録画ファイルなどに使用されない領域の割合を設定します。「マウントオプション」は、ストレージの書き込みモードを表示します。「使用済み」は、現在のストレージの使用状況を表示します。「録画 開始時間/終了時間」は録画の開始日時と終了日時を表示します。



設定するストレージの [選択] にチェックを入れて、ストレージツールで以下の項目を設定します。

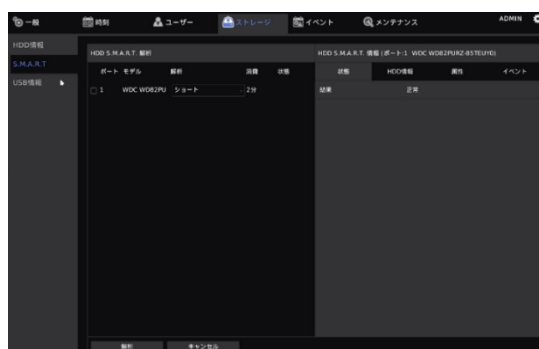
項目名	説明
フォーマット	選択したストレージをフォーマットします。 ご注意： フォーマットをおこなうと、保存されている録画データが消去されます。
ファイルシステム最適化	選択したストレージを最適化します。

不良ブロックチェック	選択したストレージに不良ブロックがあるかをチェックします。 ご注意： チェック中は録画が停止します。HDD の容量により、最大 17 時間程度かかります。
定期的にチェック...	選択したストレージを定期的にチェックします。チェックする間隔を入力します。
アンマウントすべて	内蔵されているすべてのストレージの接続を解除します。 ご注意： アンマウントすべてをおこなうと、HDD がアンマウントされて録画できない状態になります。「マウントすべて」を実行すると、録画できる状態になります。
マウントすべて	接続が解除されているすべてのストレージを再接続します。

● S.M.A.R.T

S.M.A.R.T により、内蔵ストレージの状態を確認できます。

確認する HDD にチェックを入れ、「ショート」または「拡張」を選択し、[解析] をクリックすると、HDD S.M.A.R.T 情報の下に状態、HDD 情報、属性、およびイベント履歴が表示されます。



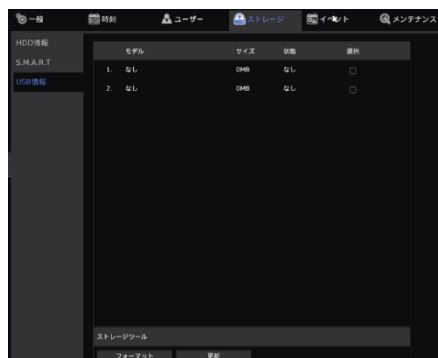
ご注意:

この機能を使用するときは、一旦録画を停止してください。

● USB 情報

USB メモリーの情報を表示します。

フォーマットする場合は、フォーマットする USB メモリーの [選択] にチェックを入れて、[フォーマット] をクリックします。



ご注意:

フォーマットをすると USB メモリーのデータが消去されます。

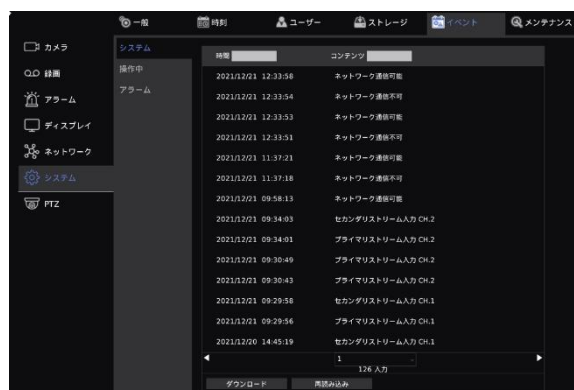
イベントを検索する

NVR の設定画面の「システム」をクリックし、「イベント」タブで NVR のイベントの検索をおこないます。

● システム

システムからのメッセージログを検索します。USB メモリーを接続し、「ダウンロード」をクリックすることで、USB メモリーにイベントを書き込むことができます。USB メモリーが接続されていない場合、「USB メモリーを挿入してください」と表示されます。[時間]、もしくは [コンテンツ] 横の記入欄に時間あるいはコンテンツを入力し、検索をおこないます。

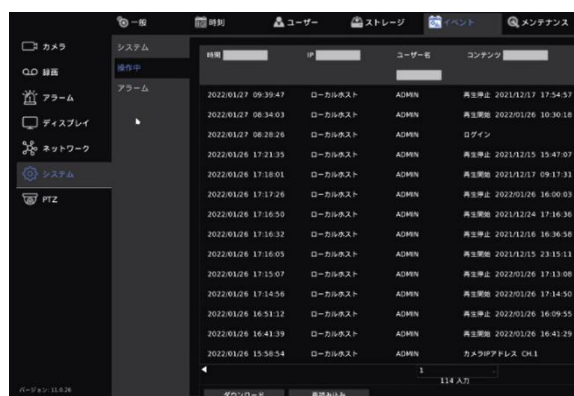
※「本体操作」は英数字、「ブラウザー操作」は英数字と日本語を入力できます。



● 操作中

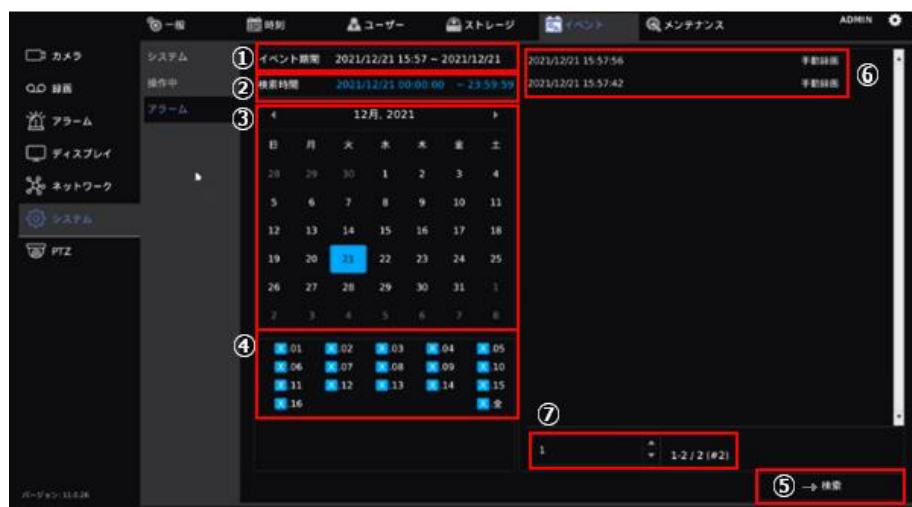
使用者の操作ログを検索します。USB メモリーを接続し、「ダウンロード」をクリックすることで、USB メモリーにイベントを書き込むことができます。USB メモリーが接続されていない場合、「USB メモリーを挿入してください」と表示されます。[時間]、[IP]、[ユーザー名]、[コンテンツ] 横の記入欄に各内容を入力し、検索をおこないます。

※「本体操作」は英数字、「ブラウザー操作」は英数字と日本語を入力できます。



● アラーム

アラーム検知をしたときの日時を検索します。



(画像は YC-R16B8 の操作画面です。)

番号	説明
①	録画された期間を表示しています。
②	検索期間が表示されます。
③	検索する日時を設定します。
④	検索するカメラを指定します。
⑤	検索条件を設定したあと、検索を実行します。
⑥	検索で該当したアラーム検知をリストで表示します。
⑦	リストのページを切り替えます。

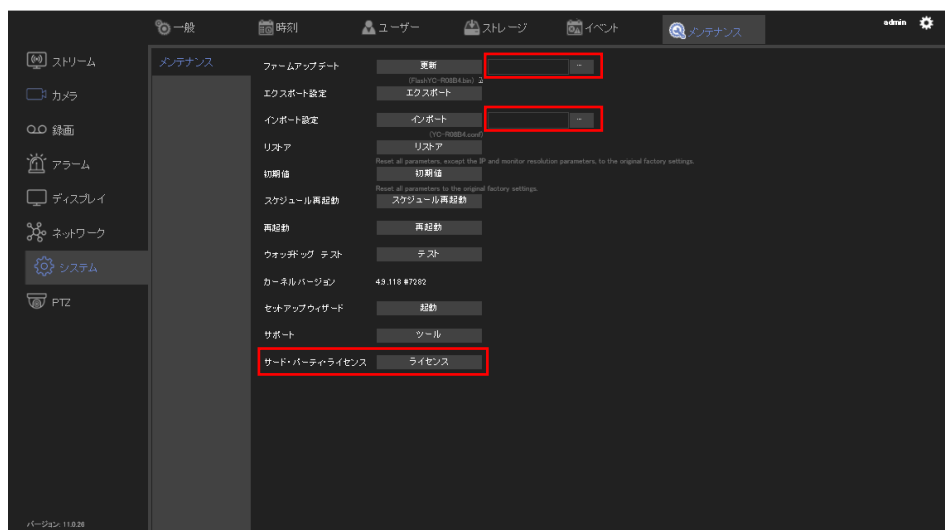
NVR をメンテナンスする

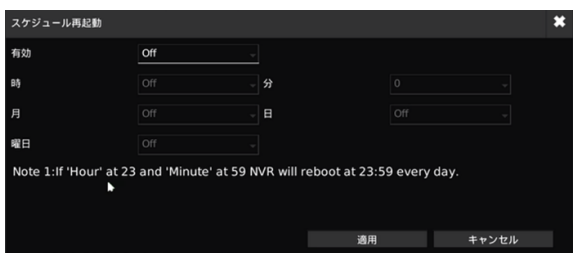
NVR の設定画面の「システム」をクリックし、「メンテナンス」タブで NVR のメンテナンスをおこないます。

本体操作



ブラウザー操作



項目名	説明
ファームウェアアップデート	NVR のファームウェアをアップデートします。「ブラウザー操作」では、パソコン上にあるファイルを選択します。アップデートの前に、パソコンにファームウェアデータファイルを保存してください。
エクスポート設定	現在の NVR の設定を「本体操作」では USB メモリーに、「ブラウザー操作」ではパソコンに書き出します。
インポート設定	「エクスポート設定」で書き出した設定を NVR に取り込みます。「ブラウザー操作」では、パソコン上に書き出したファイルを選択します。
リストア	IP アドレス設定とモニターの解像度設定を除く、設定を工場出荷時の状態に戻します。
初期値	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
スケジュール再起動	NVR の再起動のスケジュールを設定します。クリックすると次の画面が表示されます。  有効：On にすると再起動のスケジュールが有効になります。 時/分/月/日：NVR を再起動する日時を設定します。 曜日：NVR を再起動する曜日を設定します。 ※1 は月曜日、7 は日曜日を示しています。
再起動	NVR を再起動します。

ウォッチドッグテスト	ウォッチドッグタイマーを起動し、NVR のシステムが正常に動作しているかを確認します。テスト終了後、NVR は再起動します。
カーネルバージョン	NVR のシステムのカーネルバージョンを表示します。
セットアップウィザード	セットアップウィザードを起動します。
サポート	サポート専用の項目です。 使用しないでください。
サード・パーティ・ライセンス	「ブラウザー操作」のみ、サード・パーティーのソフトウェアライセンスを表示します。

● ファームウェアのアップデートについて

NVR のファームウェアバージョンが古い場合は、アップデートすることを推奨します。

NVR のファームウェアバージョンは、ライブビュー画面で  をクリックし、画面左下で確認します。「ブラウザ操作」では常に表示されています。バージョンの文字をクリックし、SVN（サブバージョン）も確認します。



（画像は YC-R16B8 の操作画面です。）

最新のファームウェアバージョンは以下の弊社ホームページから確認します。

NVR で確認したファームウェアバージョンが最新のファームウェアバージョンより古い場合、ファームウェアをアップデートすることを推奨します。

ファームウェアのアップデート方法は、以下の弊社ホームページの「ファームウェアアップデート操作マニュアル」をご確認ください。

<https://jp.sharp/business/security-camera/download/>

ご注意:

YC-R04B2、YC-R08B4、YC-R16B8 の Ver11.0.26 SVN#9499 以降は、旧バージョンには書き換えられません。

■PTZ カメラを設定する

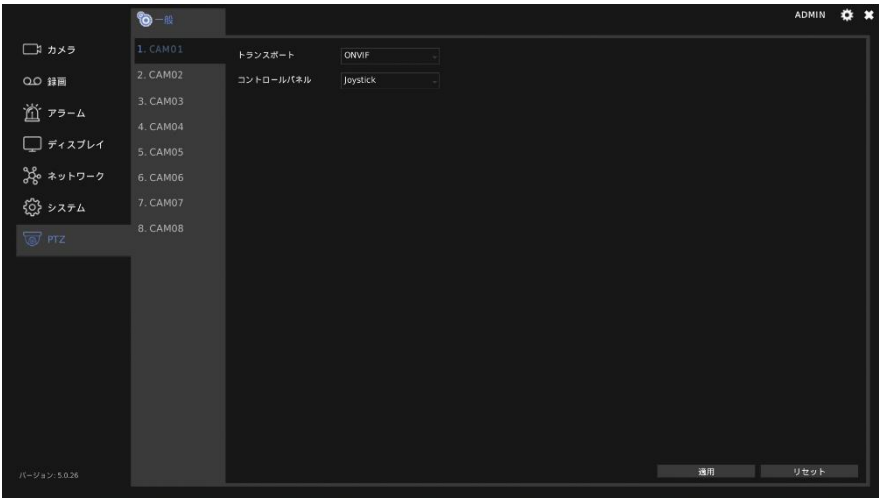
NVR の設定画面の「PTZ」をクリックし、PTZ の設定画面をひらきます。

PTZ カメラの設定をする

「一般」タブで PTZ カメラの設定をします。設定するカメラ [CAM01～] を選択してから設定をおこないます。

ご注意:

本機能は、PTZ 対応カメラまたは遠隔からの操作が可能な電動バリフォーカル（VF）レンズを搭載したカメラのみ対応しています。



(画像は YC-R08B4 の操作画面です。)

項目名	説明
トランスポート	HTTP、ONVIF、Fish Eye から PTZ 通信プロトコルを選択します。
コントロールパネル	PTZ コントロールパネルのタイプを選択します。

付録

■ 故障かな？

確認内容	解決方法
モニターに画面が表示されない	
ログインはできていますか？	右クリック→ログインを確認してください。
モニターと NVR の画面解像度は一致していますか？	設定→ディスプレイ→画面解像度がモニターの設定と一致しているか確認してください。 NVR の設定を確認する際は、パソコンの Web ブラウザーからアクセスしてください。
カメラを接続したが、ライブビューが表示されない	
NVR の設定で、カメラのパスワードが正しく入力されていますか？	設定→カメラのパスワードを確認してください。
カメラの設定で、ONVIF アカウントが有効になっていますか？	カメラの設定を確認してください。
カメラの消費電力が NVR の供給電力を超えていませんか？	カメラの再起動をおこなってください。 それでも映像が表示されない場合は、別途 PoE 電源供給機が必要です。
一定時間経過すると、ライブビューが表示されなくなる	
自動ログアウトしていませんか？	自動ログアウトが有効になっている場合、一定時間後、自動的にログアウトします。 ログアウトした場合、[Guest] 設定しているカメラ以外のライブビューが表示されません。 常にライブビューを表示させたい場合は、次の方法があります。 ・自動ログアウトを Off にする。 （セキュリティの観点から推奨しません。） ・設定→カメラから、カメラの表示設定の GUEST を設定する。
カメラの音声が出力/録音されない	
NVR の設定で、カメラの音声は On になっていますか？	設定→録画メニューの対象カメラの音声を On にしてください。
カメラの設定で、音声出力は有効になっていますか？	カメラの設定を確認してください。
録画再生の音声がずれる	
カメラの設定の参照フレームで、[Smooth] を選択していませんか？	録画再生時の音声がずれるを小さくしたい場合は [Immediate] を選択してください。 [Smooth] の場合、再生時間が長くなると音声が徐々にずれていきます。
その他	
Web ブラウザーは、Edge IE モードになっていますか？	Edge IE モード以外の Web ブラウザーでは、正しい動作とならない場合があります。

お客様ご相談窓口のご案内

本製品の使い方など一般のご相談ならびに修理についてのご相談・ご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記ご相談窓口へご連絡ください。

修理ご相談窓口

シャープマーケティングジャパン株式会社 ビジネスソリューション社



＜全国共通＞

0570-006-008

■受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40

（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます）

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

携帯電話からもご利用いただけます。

IP 電話をご利用の方は…

043-332-9957（東日本）

06-6794-9677（西日本）

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の取り扱いの詳細については、

<https://corporate.jp.sharp/privacy-j.html> をご参照ください。

電話番号、受付時間などについては、変更になることがあります。（2024 年 6 月現在）

シャープ株式会社

〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町 2 丁目 1 番 25 号

●YC-R04B2/YC-R08B4/YC-R16B8 は高調波電流規格 適合品です。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

YCR04B2USG2102R008